

山口市総合計画見直しに係る  
市民意識調査報告書

山口市  
平成28年3月



# 目次

---

## I 調査の概要

1	調査目的	3
2	調査対象者	3
3	調査方法	3
4	調査期間	3
5	調査項目	3
6	設問数	3
7	回収結果	4
8	留意事項	4
9	標本誤差	5

## II 回答者の構成と調査結果

1	回答者の構成	9
	(1) 男女別	9
	(2) 年齢別	10
	(3) 職業別	11
	(4) 地域別	12
	(5) 居住年数別	13
	(6) 居住理由別	14
2	生活形態などについて	15
	(1) 身の回り品の買物地域	15
	(2) 耐久消費財の買物地域	16
	(3) 通勤・通学地域	17
	(4) 通院医療機関地域	18
	(5) 買物、医療機関利用時の交通手段	19
3	定住の意識	20
4	山口市のまちの魅力（評価していること）	21
5	山口市の地域資源	23
6	今後の山口市のまちづくりに必要なこと	25
7	山口市が目指すまちの姿	27
8	10年後の生活の明るい見通し	28
9	人口問題について	29
10	人口問題に対する不安要因	30
11	人口問題に歯止めをかけるために必要な取組	32

# 目 次

---

1 2	まちづくりの満足度	3 4
1	支えあい健やかな暮らしのできるまち	3 5
2	いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化を育むまち	3 6
3	安心・安全な暮らしのできるまち	3 7
4	自然環境と調和した暮らしのできるまち	3 8
5	機能的な都市基盤が整い、発展していくまち	3 9
6	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	4 0
7	ともに力をあわせてつくるまち	4 1
8	市民の信頼に応える行政経営	4 2
1 3	自由意見（集約）	4 3
	※市民意識調査 調査票	4 5

## 【付属資料】資料編

単純集計	1
地域別集計	1 3
性別、年齢別集計	6 3
山口市が目指すまちの姿	1 1 3
自由意見	1 7 9

## I 調査の概要



# I 調査の概要

---

## 1 調査目的

本市は、平成19年11月に『山口市総合計画』を策定し、10年後のめざすまちの姿「ひと、まち、歴史と自然が輝く交流と創造のまち 山口」の実現に向け、諸施策に取り組んでいるところである。

次期総合計画の策定を平成30年に控え、本格的な人口減少時代や高齢社会の到来、経済のグローバル化など、本市を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした状況を踏まえ、このたびの『市民意識調査』は次期計画策定にあたっての基礎資料とするために実施するもので、将来的な行政ニーズやこれからの市民意識がどこに向かおうとしているのかを把握することを主な目的としている。

## 2 調査対象者

市内に在住する18歳以上の市民約5,000人（無作為抽出）

## 3 調査方法

郵送方式・本人記入

## 4 調査期間

平成27年9月8日（火）から9月30日（水）まで

## 5 調査項目

市民意識等の経年変化を追跡するため、基本的な項目については前回（平成23年7月実施）の「市民意識調査」の設問を踏襲しつつ、新たな行政課題等を踏まえ、次の項目を新たに追加した。

### 基本的な項目

- ①回答者の属性
- ②生活形態（充足度）
- ③地域・市の満足度
- ④現状の市民意識

### 追加する項目

- ①誇れる地域資源
- ②今後のまちづくりについて
- ③人口減少・高齢社会について
- ④総合計画の現状満足度

## 6 設問数

全12問（28項目）

うち基本事項（性別、年代、地域等）に関する設問6項目、自由意見欄1項目

## I 調査の概要

### 7 回収結果

総配布数 5,037人  
 回収数 2,573人  
 回収率 51.1% (前回: 44.9%)

(人・%) (ポイント)

地域	18歳以上の 市民 H27.4.30現在	発送数	有効回収数	有効回収率 (今回)	有効回収率 (前回)	回収率増減 (今回-前回)
大殿	6,667	208	92	44.2	50.7	-6.5
白石	8,577	266	147	55.3	47.0	8.3
湯田	10,579	329	155	47.1	44.8	2.3
仁保	2,904	90	46	51.1	43.3	7.8
小鯖	3,976	124	61	49.2	40.3	8.9
大内	18,727	584	284	48.6	44.7	3.9
宮野	12,146	379	198	52.2	45.2	7.0
吉敷	11,970	373	210	56.3	46.4	9.9
平川	13,014	399	173	43.4	39.0	4.4
大歳	10,793	338	159	47.0	39.9	7.1
陶	2,103	67	28	41.8	33.8	8.0
鑄銭司	2,434	76	37	48.7	44.4	4.3
名田島	1,261	38	22	57.9	52.5	5.4
秋穂二島	2,265	71	42	59.2	37.5	21.7
嘉川	5,900	184	101	54.9	44.4	10.5
佐山	2,419	76	40	52.6	50.7	1.9
小郡	20,491	641	318	49.6	41.8	7.8
秋穂	6,178	193	98	50.8	47.7	3.1
阿知須	7,713	241	115	47.7	47.0	0.7
徳地	5,801	180	100	55.6	42.7	12.9
阿東	5,802	180	98	54.4	49.8	4.6
居住地無回答			49			
合計	161,720	5,037	2,573	51.1	44.9	6.2

### 8 留意事項

図表内の割合を示す数値は、全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、合計値は必ずしも100にならない。また、複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計数値は100にならない。※9ページ以降の図表は「全体」の数値を示している。また、設問選択肢の表記について、一部簡略化している場合がある。

# I 調査の概要

## 9 標本誤差

意識調査やアンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数を抽出して調査（標本調査）を行うことになる。そのため、標本調査の結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのか検討することが必要であり、その精度は「標本誤差」を算出することで把握できる。

「標本誤差」とは、ある設問の回答割合に対する誤差を示しており、次式により表すことができる。通常の標本調査では、信頼度を 95% に設定するケースが多く、ここでも信頼度を 95% と設定する。これは、100 回同じ調査を実施した場合、概ね 95 回はこの精度が得られることを示す。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 1.96 \times \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

N：母集団数（人）、n：回答者数（人）、P：回答の比率（小数）

※標準正規分布において、信頼度を 95% に設定したときには、信頼度の定数 k は 1.96 となる。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げるが、「全体」では、母集団 N = 161,720 人（山口市の 18 歳以上の人口）、回答者 n = 2,573 人であるため、

$\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$  として算出している。

今回の調査結果の標本誤差

P \ n	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
2,573	±1.2%	±1.6%	±1.8%	±1.9%	±1.9%
1,474	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.6%
1,033	±1.8%	±2.4%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
471	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
318	±3.3%	±4.4%	±5.0%	±5.4%	±5.5%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
22	±12.5%	±16.7%	±19.2%	±20.5%	±20.9%

「全体」では、最も誤差が大きくなる 50% の回答率に対して 1.9% の誤差となっており、ある設問で回答率が 50% であった場合の誤差は、95% の確率で 50 ± 1.9% (48.1% ~ 51.9%) の範囲内となり、精度の高い結果になっている。ただし、回答者数が 100 人を下回る区分では、誤差が 10% を超えることがあることから、数値の取扱いに注意が必要である。



## Ⅱ 回答者の構成と調査結果

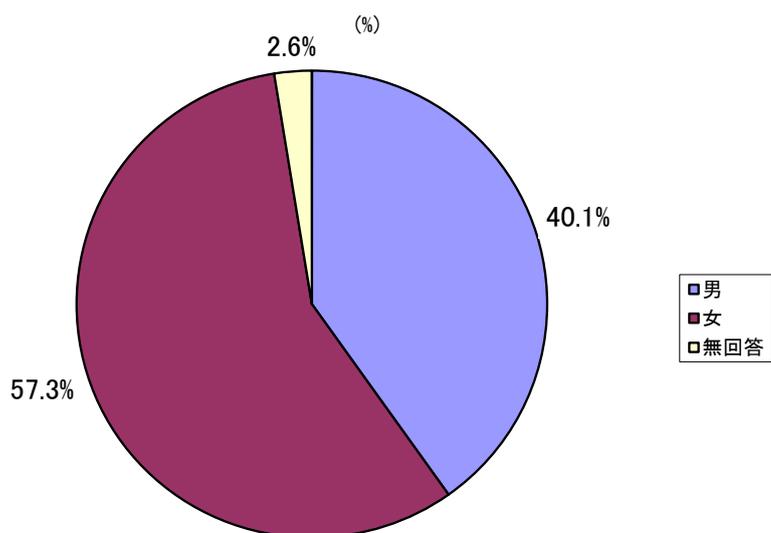


## II 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

#### (1) 男女別

- ・有効回収した調査票 2,573 のうち男女別構成は、男性が 1,033 人 (40.1%)、女性が 1,474 人 (57.3%)、記入がなく無回答が 66 人 (2.6%) であった。
- ・有効回答者の構成比率を見ると、女性の比率が高い。



(人・%)

総数	男	女	無回答
2,573	1,033	1,474	66
100.0	40.1	57.3	2.6

(上段：人数、下段：構成比)

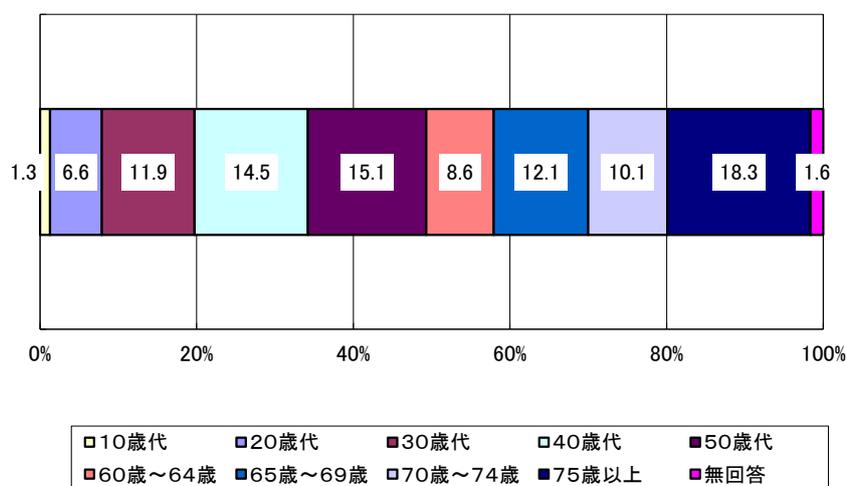
## Ⅱ 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

#### (2) 年齢別

・年齢別構成は、10歳代が33人(1.3%)、20歳代が170人(6.6%)、30歳代が305人(11.9%)、40歳代が372人(14.5%)、50歳代が389人(15.1%)、60歳～64歳が221人(8.6%)、65歳～69歳が311人(12.1%)、70歳～74歳が259人(10.1%)、75歳以上が471人(18.3%)、記入がなく無回答が42人(1.6%)であった。

※10歳代の標本数は100を大きく下回っており、標本誤差が10%以上生じることから、10ページ以降の年齢別の調査結果を見る際は、標本数が少ないほど精度が落ちる(標本誤差が大きい)ことに留意が必要である。(「標本誤差」については3ページ参照)



(人・%)

総数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
2,573	33	170	305	372	389	221	311	259	471	42
100.0	1.3	6.6	11.9	14.5	15.1	8.6	12.1	10.1	18.3	1.6

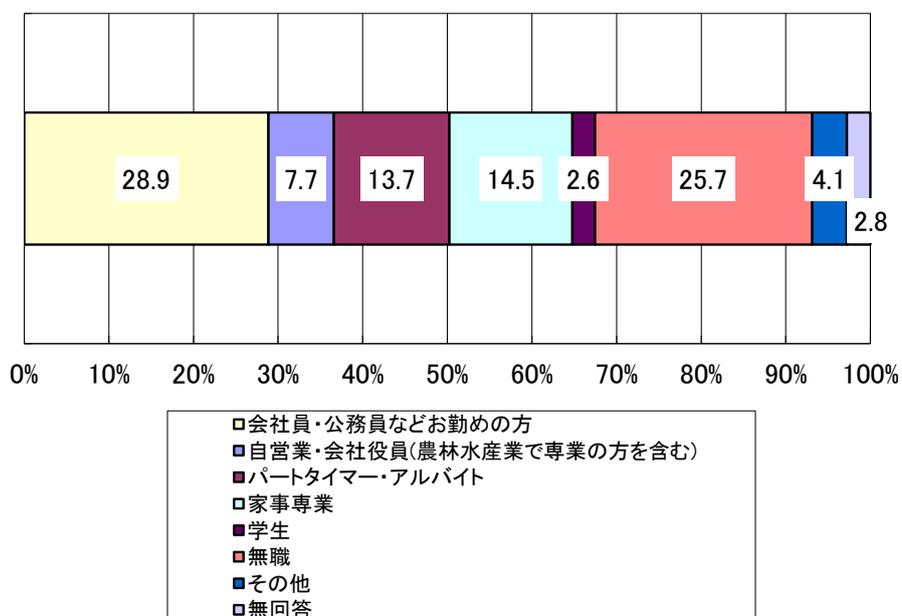
(上段：人数、下段：構成比)

## Ⅱ 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

#### (3) 職業別

- ・職業別構成は、会社員・公務員などお勤めの方が743人(28.9%)、自営業・会社役員(農林水産業で専業の方を含む)が198人(7.7%)、パートタイマー・アルバイトが352人(13.7%)、家事専業が374人(14.5%)、学生が68人(2.6%)、無職が661人(25.7%)、その他が105人(4.1%)、記入がなく無回答が72人(2.8%)であった。



(人・%)

総数	会社員・公務員などお勤めの方	自営業・会社役員(農林水産業で専業の方を含む)	パートタイマー・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
2,573	743	198	352	374	68	661	105	72
100.0	28.9	7.7	13.7	14.5	2.6	25.7	4.1	2.8

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

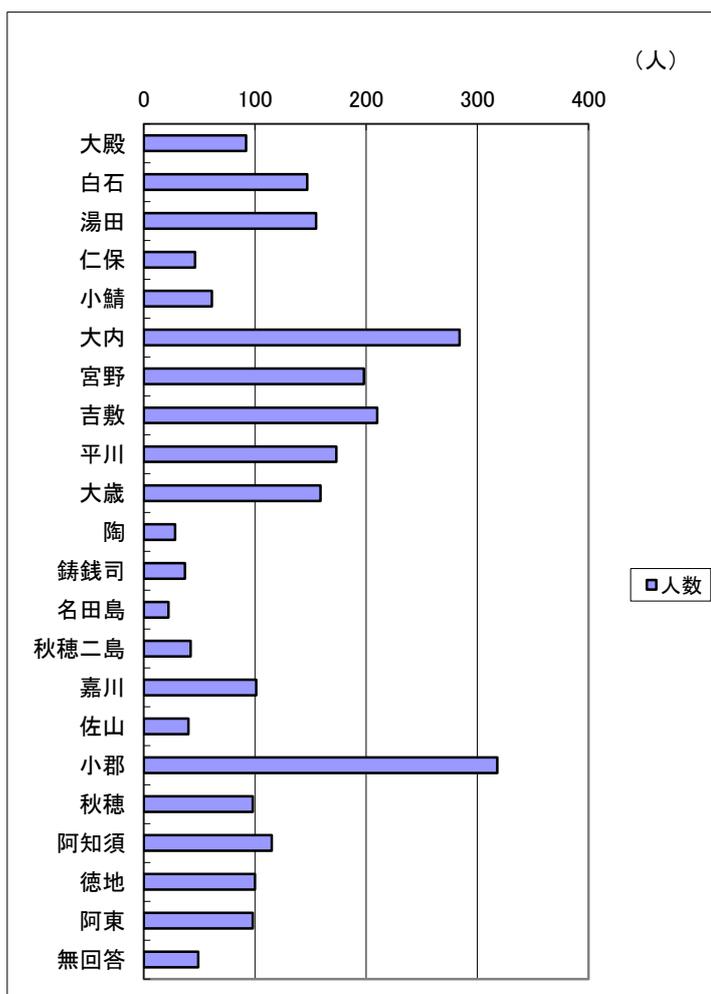
#### (4) 地域別

・地域別構成は、大殿が92人、白石が147人、湯田が155人、仁保が46人、小鯖が61人、大内が284人、宮野が198人、吉敷が210人、平川が173人、大歳が159人、陶が28人、鑄銭司が37人、名田島が22人、秋穂二島が42人、嘉川が101人、佐山が40人、小郡が318人、秋穂が98人、阿知須が115人、徳地が100人、阿東が98人、記入がなく無回答が49人であった。

※標本数が100を大きく下回る地域については、標本誤差が10%以上生じることから、15ページ以降の地域別の調査結果を見る際は、標本数が少ないほど精度が落ちる（標本誤差が大きい）ことに留意が必要である。

(人・%)

地域	人数	構成比
大殿	92	3.6
白石	147	5.7
湯田	155	6.0
仁保	46	1.8
小鯖	61	2.4
大内	284	11.0
宮野	198	7.7
吉敷	210	8.2
平川	173	6.7
大歳	159	6.2
陶	28	1.1
鑄銭司	37	1.4
名田島	22	0.9
秋穂二島	42	1.6
嘉川	101	3.9
佐山	40	1.6
小郡	318	12.4
秋穂	98	3.8
阿知須	115	4.5
徳地	100	3.9
阿東	98	3.8
無回答	49	1.9
合計	2,573	100.0



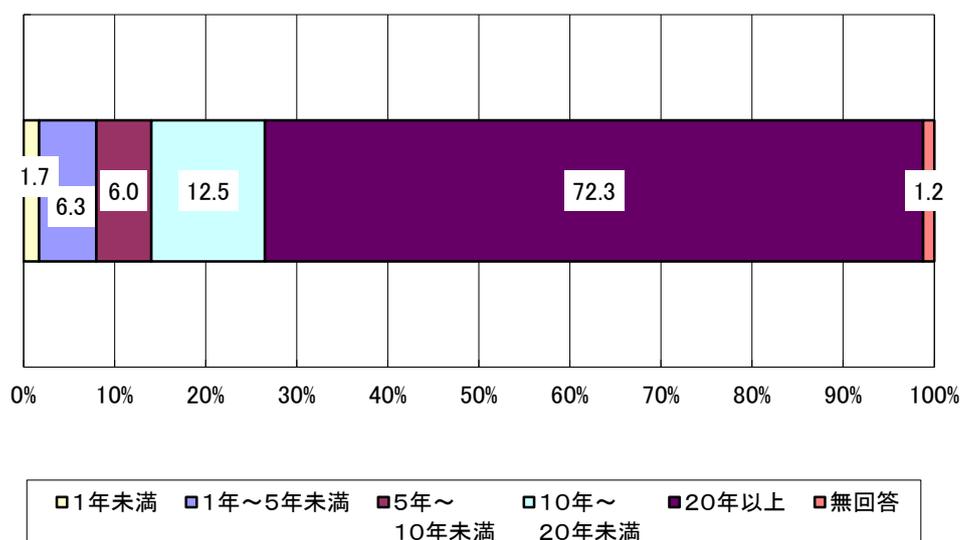
※網掛けの7地域については、10%以上の標本誤差に留意が必要

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

#### (5) 居住年数別

- ・居住年数別構成は、1年未満が44人(1.7%)、1年～5年未満が162人(6.3%)、5年～10年未満が155人(6.0%)、10年～20年未満が321人(12.5%)、20年以上が1,860人(72.3%)、記入がなく無回答が31人(1.2%)であった。



(人・%)

総数	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	無回答
2,573	44	162	155	321	1,860	31
100.0	1.7	6.3	6.0	12.5	72.3	1.2

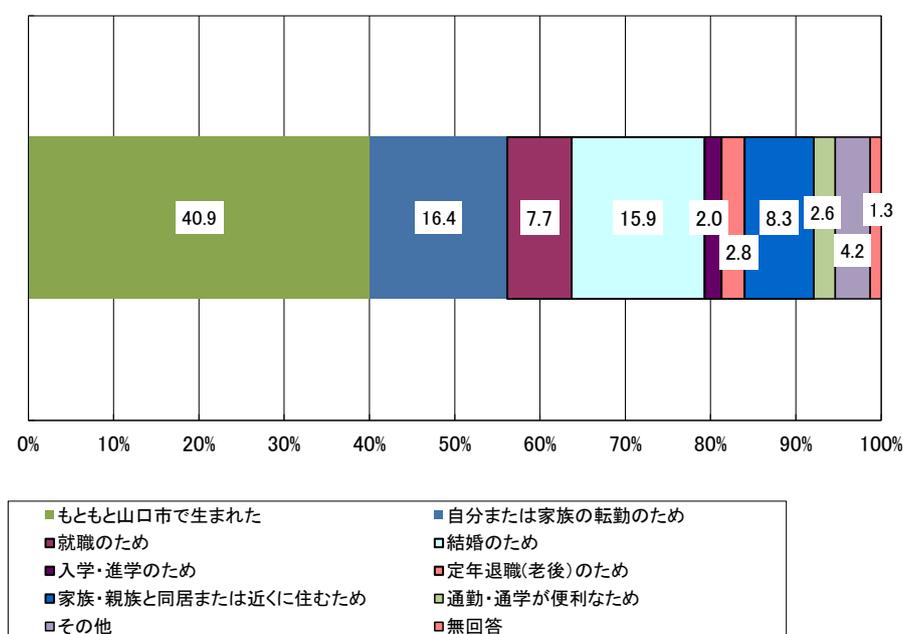
(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 回答者の構成

#### (6) 居住理由別

- ・居住理由別構成は、もともと山口市で生まれたが1,052人(40.9%)、自分または家族の転勤のためが421人(16.4%)、就職のためが198人(7.7%)、結婚のためが409人(15.9%)、入学・進学のためが52人(2.0%)、定年退職(老後)のためが71人(2.8%)、家族・親族と同居または近くに住むためが213人(8.3%)、通勤・通学が便利のためが66人(2.6%)、その他が107人(4.2%)、記入がなく無回答が34人(1.3%)であった。



(人・%)

総数	もともと山口市で生まれた	自分または家族の転勤のため	就職のため	結婚のため	入学・進学のため	定年退職(老後)のため	家族・親族と同居または近くに住むため	通勤・通学が便利のため	その他	無回答
2,623	1,052	421	198	409	52	71	213	66	107	34
101.9	40.9	16.4	7.7	15.9	2.0	2.8	8.3	2.6	4.2	1.3

(上段：人数、下段：構成比)

## Ⅱ 回答者の構成と調査結果

### 2 生活形態などについて

#### (1) 身の回り品の買物地域

##### 全体

「お住まいの地域内」が68.5%と最も高い値を示し、続いて「市内の他地域」が23.2%、「県内他市町」が4.5%、「その他」が0.7%、「通信販売・インターネット」が0.3%となっている。

##### 地域別

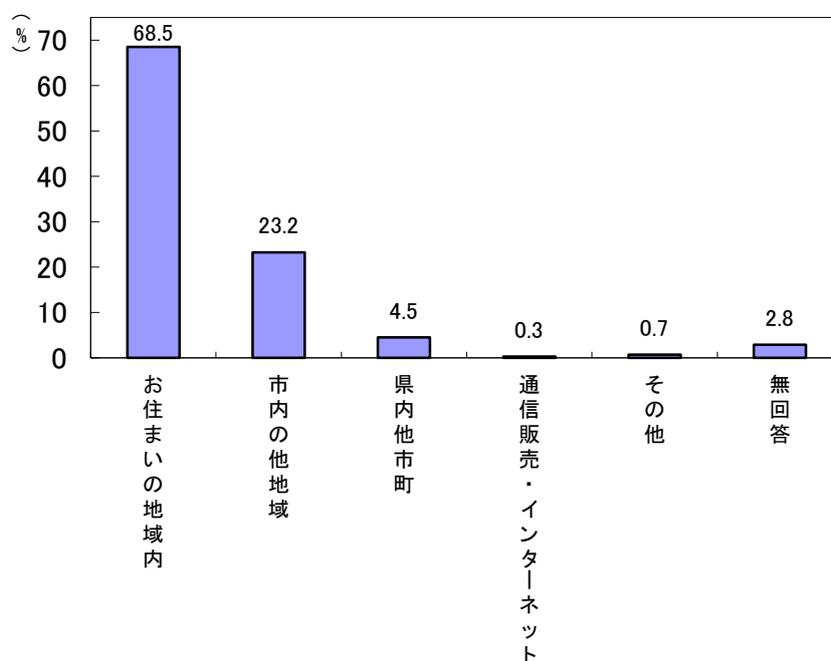
「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、大内の95.1%、小郡の87.4%、平川の83.8%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが徳地の31.0%、阿知須の22.6%、佐山の20.0%などとなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、75歳以上の77.1%、20歳代の72.4%となっている。また「県内他市町」で高い数値を示しているのが、50歳代の6.7%、40歳代の5.9%となっている。



(人・%)

総数	お住まいの地域内	市内の他地域	県内他市町	通信販売・インターネット	その他	無回答
2,573	1,763	598	115	7	17	73
100.0	68.5	23.2	4.5	0.3	0.7	2.8

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 2 生活形態などについて

#### (2) 耐久消費財の買物地域

##### 全体

「市内の他地域」が39.0%と最も高い値を示し、続いて「お住まいの地域内」が38.5%、「県内他市町」が10.6%、「通信販売やインターネット」が4.9%、「県外」が2.8%、「その他」が0.4%となっている。

##### 地域別

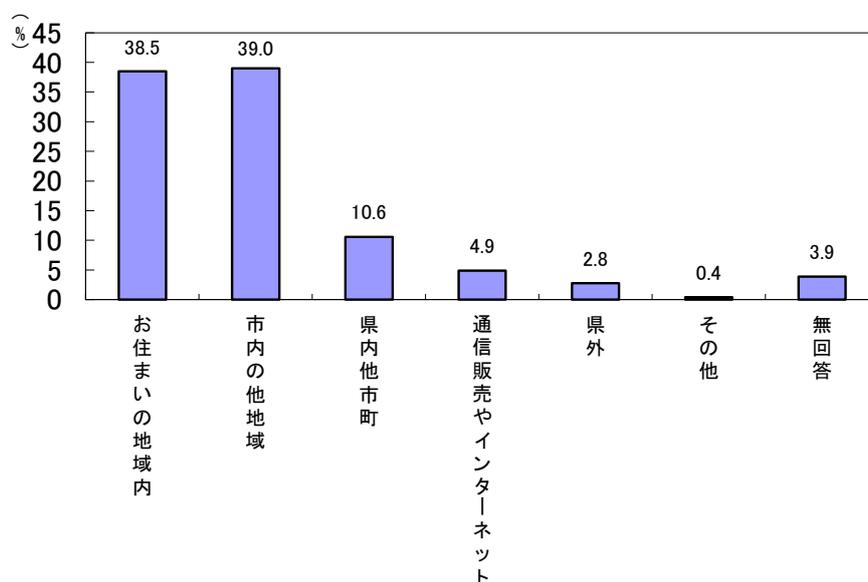
「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、平川の73.4%、大内の59.9%、阿知須の53.9%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが、徳地の64.0%、秋穂の44.9%、阿知須の33.9%などとなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

年齢別では「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、75歳以上の53.1%、70歳～74歳の45.2%となっており、高年齢層ほど数値が高い傾向にある。「通信販売やインターネット」で高い数値を示しているのが、10歳代の18.2%、30歳代の14.8%、20歳代の7.6%など、「県外」で高い数値を示しているのが、10歳代の9.1%、30歳代の8.5%、20歳代の7.1%となっており、若年層ほど数値が高い傾向にある。



(人・%)

総数	お住まいの地域内	市内の他地域	県内他市町	通信販売やインターネット	県外	その他	無回答
2,573	990	1,003	272	126	71	11	100
100.0	38.5	39.0	10.6	4.9	2.8	0.4	3.9

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 2 生活形態などについて

#### (3) 通勤・通学地域

##### 全体

「市内の他地域」が41.3%と最も高い値を示し、続いて「お住まいの地域内」が35.8%、「県内他市町」が16.0%、「県外」が2.4%、「その他」が0.9%となっている。

##### 地域別

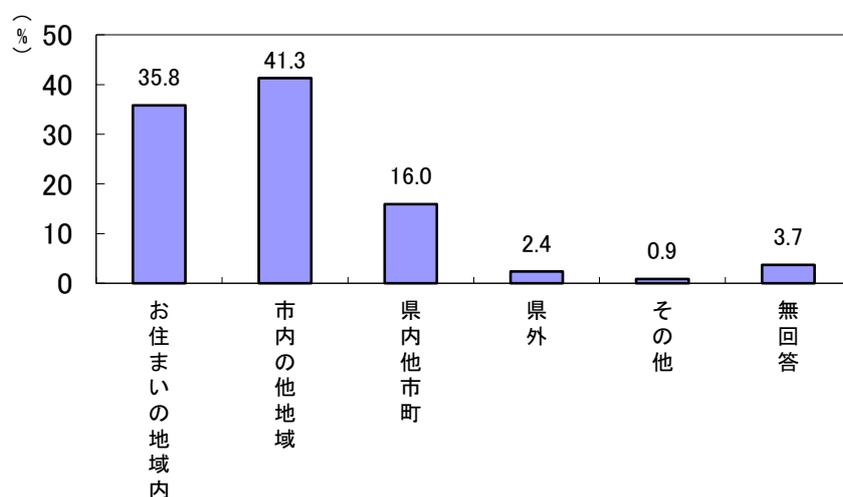
「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、阿東の65.4%、秋穂二島の50.0%、小郡の47.3%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが、徳地の44.0%、阿知須の40.3%、佐山の35.3%などとなっている。

##### 男女別

「お住まいの地域内」と「市内の他地域」を合わせた値が、男性71.1%、女性83.0%で女性が11.9ポイント高く、「県内他市町」が男性21.2%、女性10.9%で男性が10.3ポイント高くなっている。

##### 年齢別

「県内他市町」で高い数値を示しているのが、20歳代の20.9%、65歳～69歳の18.7%、50歳代の18.0%、30歳代の17.6%となっている。



(人・%)

総数	お住まいの地域内	市内の他地域	県内他市町	県外	その他	無回答
1,466	525	605	234	35	13	54
100.0	35.8	41.3	16.0	2.4	0.9	3.7

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 2 生活形態などについて

#### (4) 通院医療機関地域

##### 全体

「お住まいの地域内」が59.0%と最も高い値を示し、続いて「市内の他地域」が29.0%、「県内他市町」が8.0%、「県外」が0.5%、「その他」が0.2%となっている。

##### 地域別

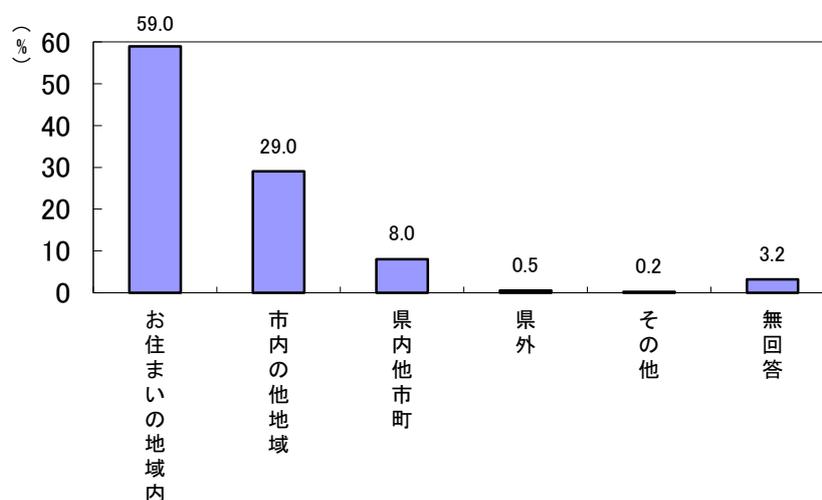
「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、小郡の84.6%、湯田の74.8%、大内の70.8%など、「県内他市町」で高い数値を示しているのが、徳地の74.0%、秋穂の29.6%、阿知須の26.1%などとなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「お住まいの地域内」で高い数値を示しているのが、10歳代の66.7%、20歳代の62.4%、75歳以上の61.6%となっており、区分による差異はほとんどみられない。



(人・%)

総数	お住まいの地域内	市内の他地域	県内他市町	県外	その他	無回答
2,573	1,518	747	207	13	6	82
100.0	59.0	29.0	8.0	0.5	0.2	3.2

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 2 生活形態などについて

#### (5) 買物、医療機関利用時の交通手段

##### 全 体

1位が「自家用車（バイクを含む）」の81.7%、続いて「自転車」の7.0%、「バス」の3.1%、「徒歩」の2.4%、「タクシー」の2.2%、「鉄道」の0.4%、「その他」の0.4%となっている。

##### 地域別

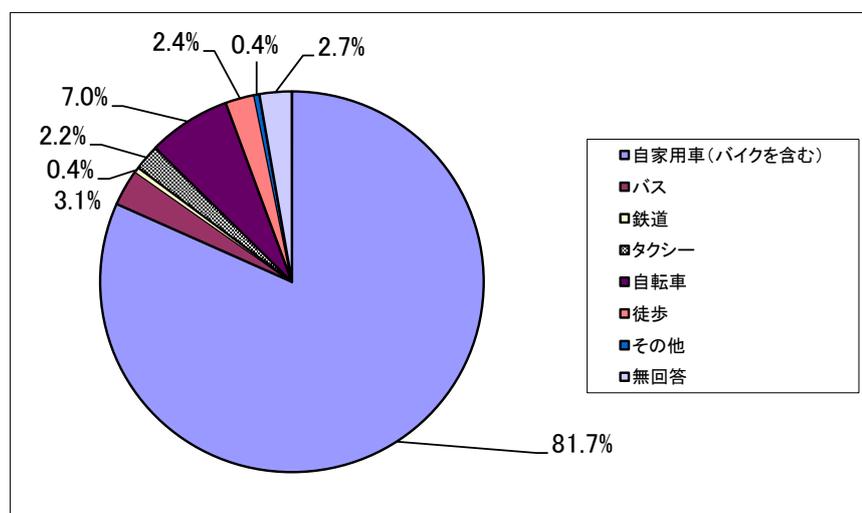
「自家用車（バイクを含む）」が全地域で1位となっている。

##### 男女別

「自家用車（バイクを含む）」が男性の88.2%に対して女性が77.3%で男性が10.9ポイント高く、「バス」が男性の0.9%に対して女性が4.5%で女性が3.6ポイント高くなっている。

##### 年齢別

10歳代の「自転車」（51.5%）、「徒歩」（6.1%）が他の年齢区分に比べて高くなっており、75歳代以上の「バス」（11.0%）、「タクシー」（9.3%）が他の年齢区分に比べて高くなっている。



(人・%)

総数	自家用車 (バイクを 含む)	バス	鉄道	タクシー	自転車	徒歩	その他	無回答
2,573	2,102	80	11	56	180	63	11	70
100.0	81.7	3.1	0.4	2.2	7.0	2.4	0.4	2.7

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 3 定住の意識

#### 全体

「ずっと住みたい」(61.1%)と「当分は住みたい」(24.3%)を合わせた値は85.4%となっている。

#### 地域別

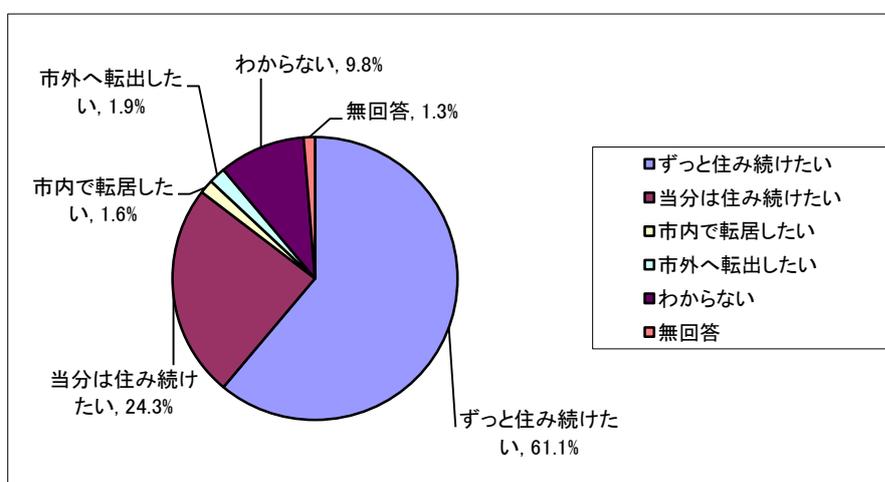
「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合わせた値は、佐山(97.5%)、阿知須(92.2%)、仁保(91.3%)の順で高くなっている。逆に低いのは、陶(64.3%)、小鯖(78.7%)、阿東(79.6%)の順となっている。

#### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

#### 年齢別

「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合わせた値は、75歳以上(90.3%)、65歳～69歳(89.4%)、70歳～74歳(88.8%)の順で高くなっている。逆に低いのは、10歳代(39.4%)、20歳代(71.2%)の順で高くなっている。



(人・%)

総数	ずっと住みたい	当分は住みたい	市内へ転居したい	市外へ転出したい	わからない	無回答
2,573	1,572	626	41	49	252	33
100.0	61.1	24.3	1.6	1.9	9.8	1.3

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 4 山口市のまちなみの魅力（評価していること）（3つまで）

#### 全体

1位が「地震が少ない」で47.5%、2位が「静かで落ち着いた雰囲気を持っている」で39.6%、続いて、「犯罪が少なく治安がよい」が30.6%、「海や山などの自然に恵まれている」が26.5%。「道路や駐車場が整備され自動車の移動に便利である」が22.5%、「まちなみと自然が調和した美しい景観が保たれている」が15.2%、「医療機関が充実している」が13.2%、「食べ物がおいしい」が12.6%、「子どもの教育環境が整っている」が10.8%となっている。

#### 地域別

「海や山などの自然に恵まれている」が1位となったのが、秋穂二島、佐山、秋穂、「地震が少ない」が1位となったのが、仁保、小鯖、大内、平川、大歳、陶、鑄銭司、名田島、佐山、小郡、阿知須、徳地（佐山は上位2項目が同率）、「静かで落ち着いた雰囲気を持っている」が1位となったのが、大殿、白石、湯田、宮野、吉敷、名田島、嘉川（名田島は上位2項目が同率）となっている。項目ごとで高い数値を示しており特徴的なのは、「子どもの教育環境が整っている」では、白石（31.3%）、「まちなみと自然が調和した美しい景観が保たれている」では、小鯖（32.8%）、「食べ物がおいしい」では、阿東（38.8%）、秋穂（29.6%）、「バスや鉄道などの交通の便がよい」では、小郡（25.5%）、「道路や駐車場が整備され自動車の移動に便利である」では、陶（39.3%）、「大規模な公園や自然とふれあう場が整備されている」では、吉敷（16.2%）、大歳（15.1%）、阿知須（14.8%）となっている。

#### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

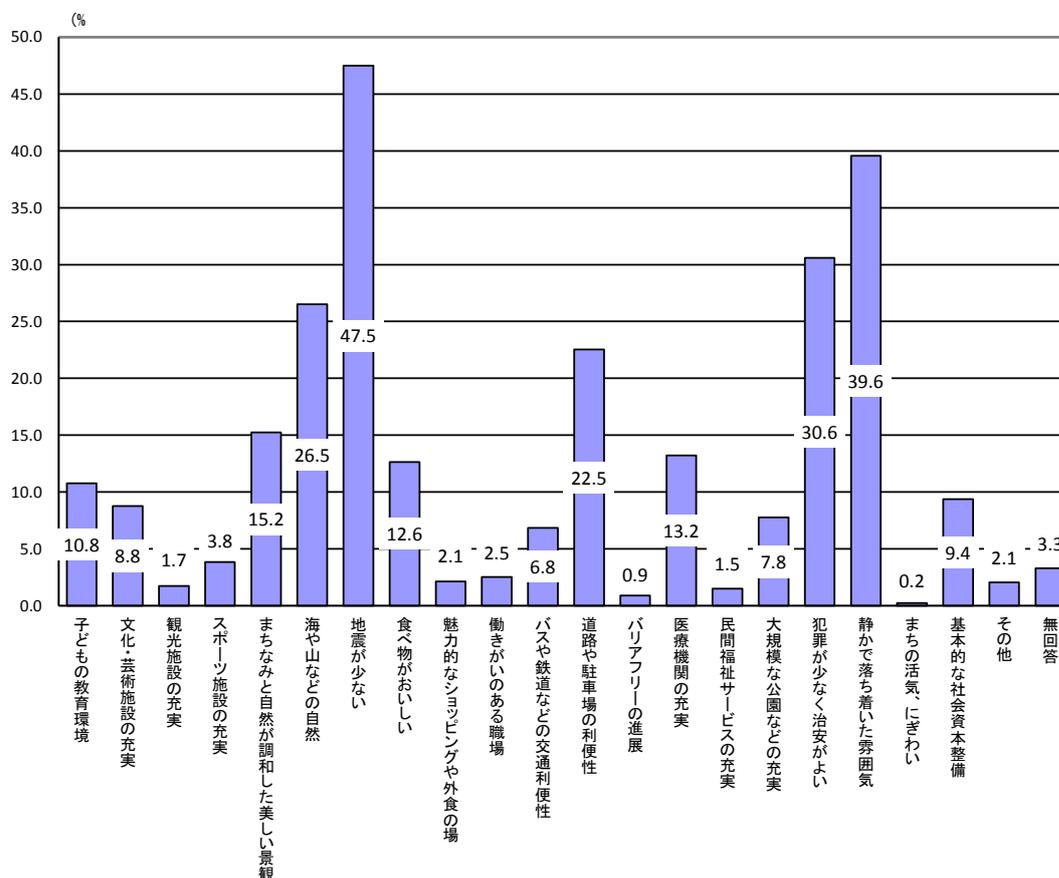
#### 年齢別

「地震が少ない」が10歳代、40歳以上で1位、「静かで落ち着いた雰囲気を持っている」が20歳代、30歳代で1位となっている。

※図表は次ページ

## II 回答者の構成と調査結果

### 4 山口市のまちの魅力（評価していること）（3つまで）



(件・%)

総数	子どもの教育環境	文化・芸術施設の充実	観光施設の充実	スポーツ施設の充実	まちなみと自然が調和した美しい景観	海や山などの自然	地震が少ない	
6,936	277	226	45	99	392	682	1,222	
269.6	10.8	8.8	1.7	3.8	15.2	26.5	47.5	
	食べ物がおいしい	魅力的なショッピングや外食の場	働きがいのある職場	バスや鉄道などの交通利便性	道路や駐車場の利便性	バリアフリーの進展	医療機関の充実	
	325	55	65	176	580	23	340	
	12.6	2.1	2.5	6.8	22.5	0.9	13.2	
	民間福祉サービスの充実	大規模な公園などの充実	犯罪が少なく治安がよい	静かで落ち着いた雰囲気	まちの活気、にぎわい	基本的な社会資本整備	その他	無回答
	39	200	787	1,018	6	241	53	85
	1.5	7.8	30.6	39.6	0.2	9.4	2.1	3.3

(上段：件数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

---

### 5 山口市の地域資源（3つまで）

#### 全 体

1位が「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」で56.1%、2位が「SL『やまぐち』号」で40.7%、続いて「海や山など豊かな自然」で30.5%、「湯田温泉」が27.1%、「パークロードをはじめとした美しい道路」が26.2%、「明治維新の関連史跡」が25.6%、「農林水産物などの特産品」が23.3%、「サビエル記念聖堂・日本のクリスマスは山口から」が16.2%となっている。

#### 地域別

「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」が1位となったのが、大殿、白石、湯田、仁保、小鯖、大内、宮野、吉敷、平川、大歳、鑄銭司、名田島、嘉川、佐山、阿知須、「SL『やまぐち』号」が1位となったのが、陶、小郡、阿東、「海や山など豊かな自然」が1位となったのが、秋穂二島、秋穂、徳地となっている。

#### 男女別

男女ともに「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」が1位で、「SL『やまぐち』号」が2位となっている。

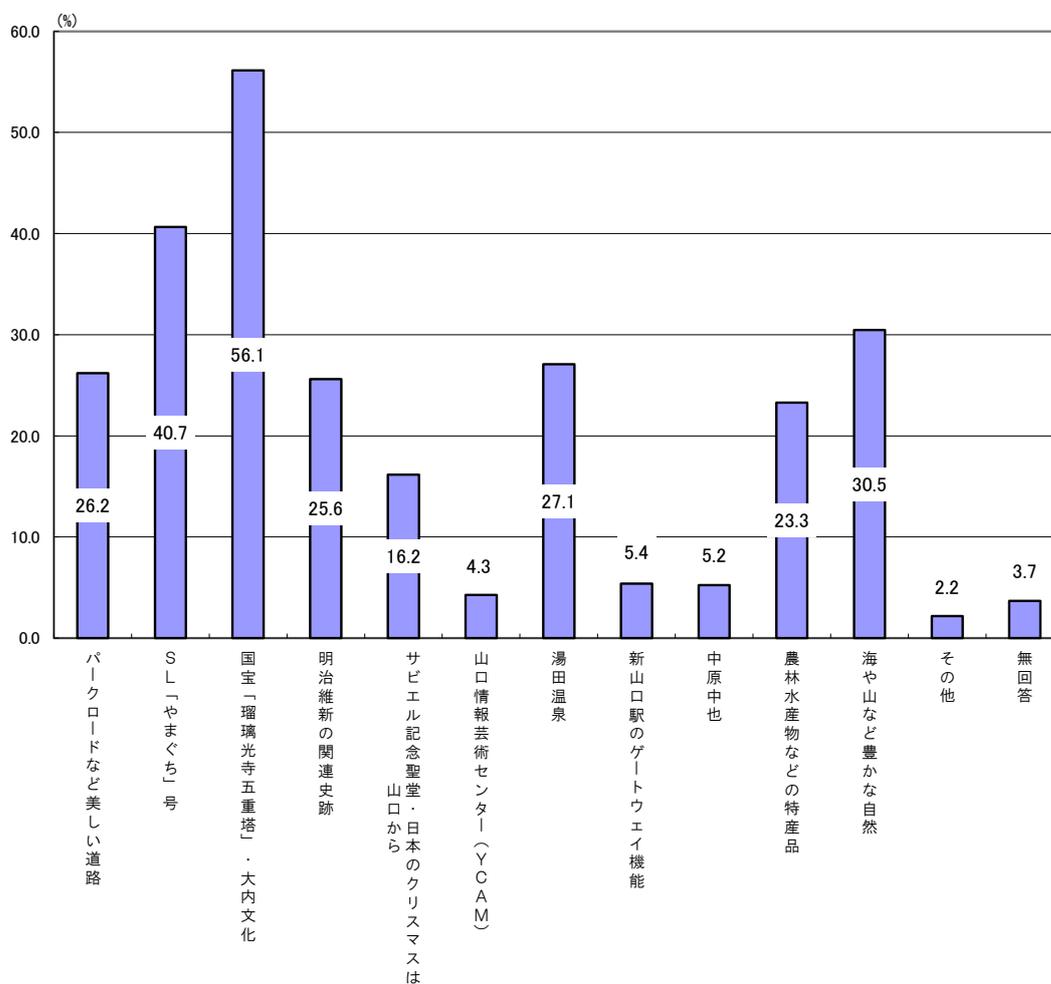
#### 年齢別

「SL『やまぐち』号」が30歳代以下で1位、「国宝『瑠璃光寺五重塔』・大内文化」が40歳以上で1位となっている。

※図表は次ページ

## II 回答者の構成と調査結果

### 5 山口市の地域資源（3つまで）



(件・%)

総数	パークロードなど美しい道路	S L「やまぐち」号	国宝「瑠璃光寺五重塔」・大内文化	明治維新の関連史跡	サビエル記念聖堂・日本のクリスマスは山口から	山口情報芸術センター（YCAM）
6,854	674	1,046	1,444	659	416	110
266.4	26.2	40.7	56.1	25.6	16.2	4.3
湯田温泉	新山口駅のゲートウェイ機能	中原中也	農林水産物などの特産品	海や山など豊かな自然	その他	無回答
697	139	135	599	784	56	95
27.1	5.4	5.2	23.3	30.5	2.2	3.7

(上段：件数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 6 今後の山口市のまちづくりに必要なこと

#### 全 体

1位が「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」で42.3%、2位が「治安がよく安心して暮らせるまち」で32.6%、続いて「産業が盛んで働く場所が充実したまち」で29.3%、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が28.3%、「防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち」が26.8%、「子育てしやすい環境が整備されたまち」が23.5%となっている。

#### 地域別

「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」が秋穂二島を除く全地域で1位となっている。「治安がよく安心して暮らせるまち」が1位となったのが、大殿（大殿は上位2項目が同率）、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が1位となったのが鑄銭司（鑄銭司は上位2項目が同率）となっている。秋穂二島では「産業が盛んで働く場所が充実したまち」が1位となっている。

#### 男女別

男女ともに「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」が1位で、「治安がよく安心して暮らせるまち」が2位となっており、3位は男性が「産業が盛んで働く場所が充実したまち」、女性が「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」となっている。

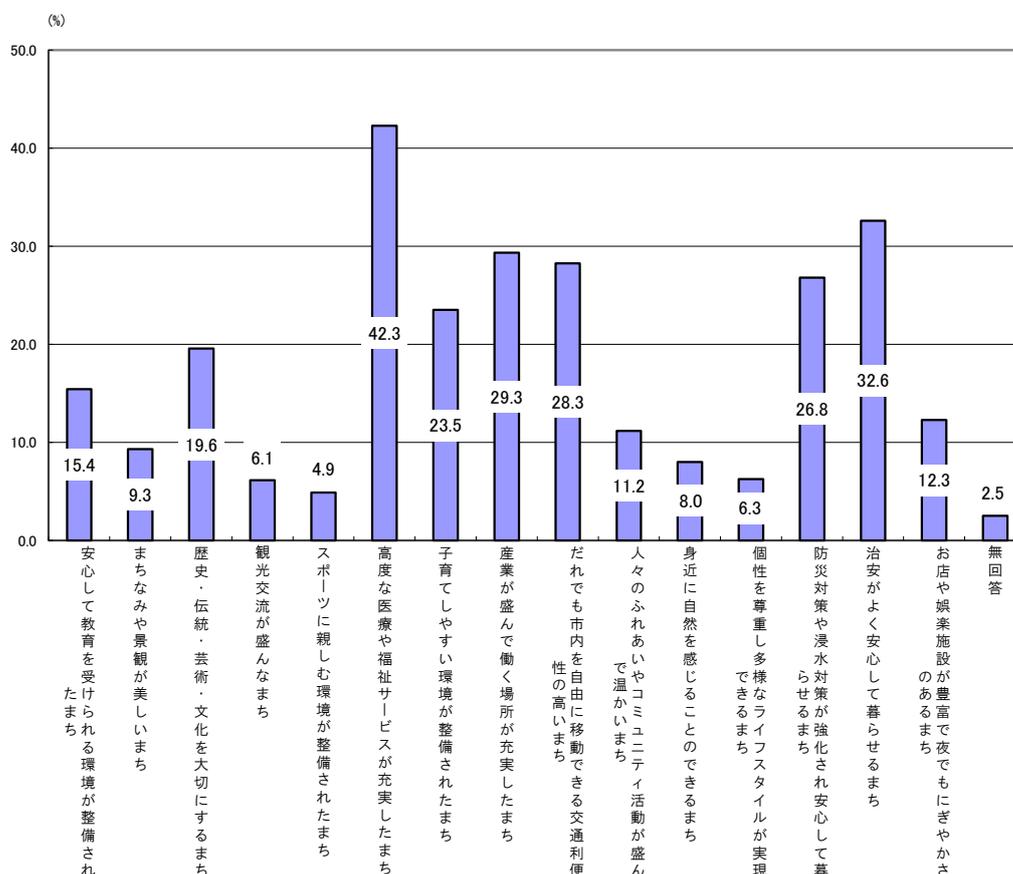
#### 年齢別

「高度な医療や福祉サービスが充実したまち」が40歳以上で1位、「子育てしやすい環境が整備されたまち」が30歳代で1位、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が20歳代以下で1位、「お店や娯楽施設が豊富で、夜でもにぎやかさのあるまち」が20歳代で1位（20歳代は上位2項目が同率）となっている。

※図表は次ページ

## II 回答者の構成と調査結果

### 6 今後の山口市のまちづくりに必要なこと



(件・%)

総数	安心して教育を受けられる環境が整備されたまち	まちなみや景観が美しいまち	歴史・伝統・芸術・文化を大切にすまち	観光交流が盛んなまち	スポーツに親しむ環境が整備されたまち	無回答
7,165	397	240	504	158	126	
278.5	15.4	9.3	19.6	6.1	4.9	
	高度な医療や福祉サービスが充実したまち	子育てしやすい環境が整備されたまち	産業が盛んで働く場所が充実したまち	だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち	人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んで温かいまち	
	1,088	605	755	727	288	
	42.3	23.5	29.3	28.3	11.2	
	身近に自然を感じることもできるまち	個性を尊重し多様なライフスタイルが実現できるまち	防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち	治安がよく安心して暮らせるまち	お店や娯楽施設が豊富で夜でもにぎやかさのあるまち	無回答
	206	161	690	839	316	65
	8.0	6.3	26.8	32.6	12.3	2.5

(上段：件数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 7 山口市が目指すまちの姿

- ・山口市が目指すまちの姿についての意見は、全体で1,561人(1,714件)の記載があり、記載者割合は60.7%となっている。(1人で複数の意見を記載している場合がある。)
- ・意見は、問6の設問区分に分類し、複数分野にわたる意見は「まちづくり全般」として分類した。その他、どの区分にも属さない意見については、「その他」として分類した。
- ・最も多いのが、「まちづくり全般」で365件、次いで「産業が盛んで働く場所が充実したまち」が245件、「だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち」が217件などとなっている。

区分	意見件数
1. 安心して教育を受けられる環境が整備されたまち	29
2. まちなみや景観が美しいまち	25
3. 歴史・伝統・芸術・文化を大切にすまち	51
4. 観光交流が盛んなまち	51
5. スポーツに親しむ環境が整備されたまち	15
6. 高度な医療や福祉サービスが充実したまち	145
7. 子育てしやすい環境が整備されたまち	126
8. 産業が盛んで働く場所が充実したまち	245
9. だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち	217
10. 人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んで温かいまち	76
11. 身近に自然を感じるこのできるまち	29
12. 個性を尊重し多様なライフスタイルが実現できるまち	18
13. 防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち	93
14. 治安がよく安心して暮らせるまち	80
15. お店や娯楽施設が豊富で、夜でもにぎやかさのあるまち	115
16. まちづくり全般	365
17. その他	34
合 計	1,714

## II 回答者の構成と調査結果

### 8 10年後の生活の明るい見通し

#### 全体

「そう思う」(7.9%)と「どちらかといえばそう思う」(33.7%)を合わせた値は41.6%となっている。また、「どちらかといえばそう思わない」(35.6%)と「そう思わない」(19.1%)を合わせた値は54.7%となっている。

#### 地域別

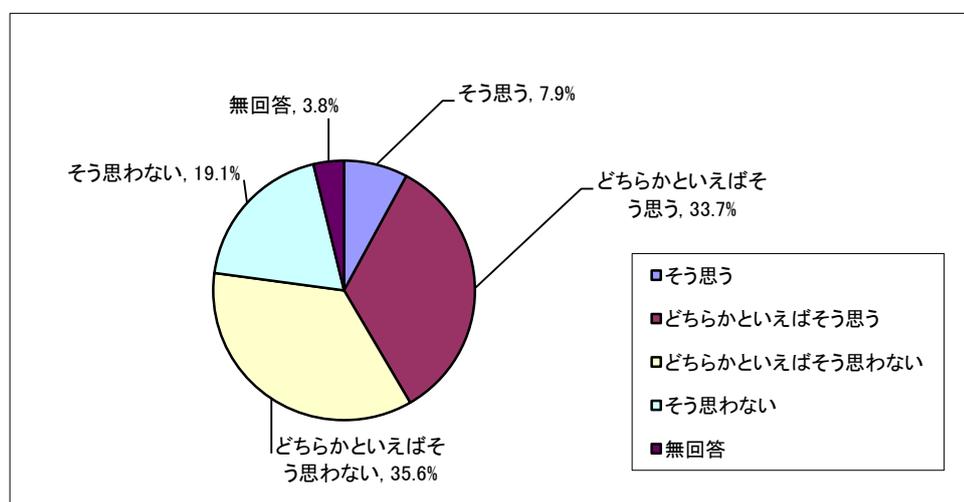
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた値は、名田島(50.0%)、湯田(49.7%)、大内(48.5%)、平川(48.5%)の順で高くなっている。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた値は、阿東(75.6%)、秋穂二島(71.4%)、小鯖(67.2%)の順で高くなっている。

#### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

#### 年齢別

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた値は、10歳代が63.6%で最も高く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた値は、60歳～69歳が71.0%で最も高くなっている。



(人・%)

総数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
2,573	203	867	915	491	97
100.0	7.9	33.7	35.6	19.1	3.8

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 9 人口問題について

#### 全体

「非常に不安」(39.4%)と「まあまあ不安」(39.9%)を合わせた値は79.3%となっている。また、「あまり不安ではない」(4.3%)と「全く不安ではない」(1.0%)を合わせた値は5.3%で、「ふつう」が13.0%となっている。

#### 地域別

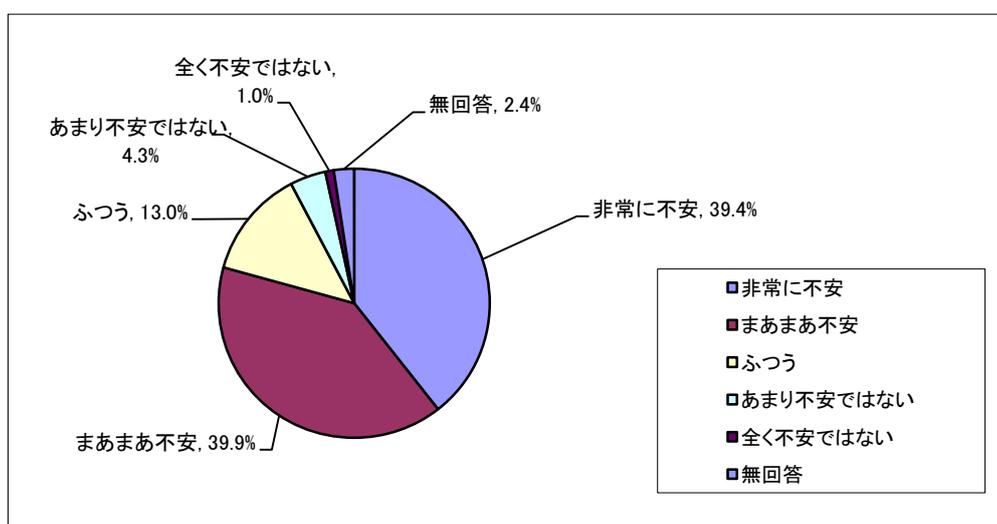
「非常に不安」と「まあまあ不安」を合わせた値は、名田島(90.9%)、阿東(89.7%)、佐山(87.5%)、仁保(87.0%)の順で高くなっている。また、陶、名田島では「あまり不安ではない」と「全く不安ではない」を合わせた値は0%となっている。

#### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

#### 年齢別

「非常に不安」と「まあまあ不安」を合わせた値は、40歳代(83.0%)、50歳代(82.8%)、20歳代(80.6%)の順で高くなっている。



(人・%)

総数	非常に不安	まあまあ不安	ふつう	あまり不安ではない	全く不安ではない	無回答
2,573	1,014	1,026	335	110	26	62
100.0	39.4	39.9	13.0	4.3	1.0	2.4

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 10 人口問題に対する不安要因（3つまで）

（前問において、「非常に不安」または「まあまあ不安」を選択した者のみ回答）

#### 全体

1位が「年金など社会保障制度が持続できなくなる」で60.0%、2位が「人がいなくなって地域の活力がなくなる」で51.2%、続いて「医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる」で47.7%、「空き家が増加して災害・犯罪の危険が増す」が24.1%、「働き手がいなくなる」が22.9%となっている。

#### 地域別

「人がいなくなって地域の活力がなくなる」が1位となったのが、白石、仁保、鑄銭司、秋穂二島、嘉川、秋穂、徳地、阿東、「年金など社会保障制度が持続できなくなる」が1位となったのが、大殿、白石、湯田、小鯖、大内、宮野、吉敷、平川、大歳、陶、名田島、嘉川、佐山、小郡、阿知須(白石、嘉川は上位2項目が同率)となっている。

#### 男女別

男女ともに「年金など社会保障制度が持続できなくなる」が1位となっており、2位は男性が「人がいなくなって地域の活力がなくなる」、女性が「医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる」となっている。

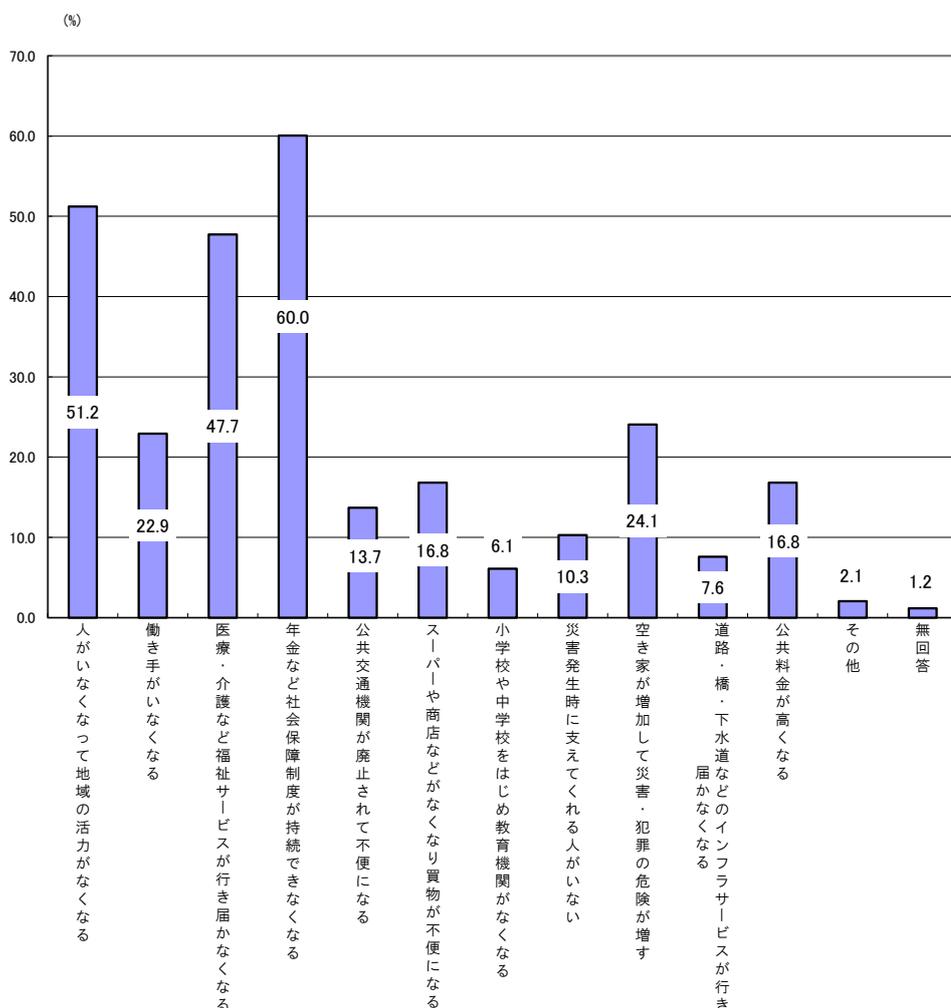
#### 年齢別

「人がいなくなって地域の活力がなくなる」が70歳以上で1位、「医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる」が70歳～74歳で1位（70歳～74歳は上位2項目が同率）、「年金など社会保障制度が持続できなくなる」が69歳以下で1位となっている。

※図表は次ページ

## Ⅱ 回答者の構成と調査結果

### 10 人口問題に対する不安要因（3つまで）



(件・%)

総数	人がいなくなつて地域の活力がなくなる	働き手がなくなる	医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる	年金など社会保障制度が持続できなくなる	公共交通機関が廃止されて不便になる	スーパーや商店などがなくなり買物が不便になる
5,723	1,045	468	974	1,225	279	343
280.5	51.2	22.9	47.7	60.0	13.7	16.8
小学校や中学校をはじめ教育機関がなくなる	災害発生時に支えてくれる人がいない	空き家が増加して災害・犯罪の危険が増す	道路・橋・下水道などのインフラサービスが行き届かなくなる	公共料金が高くなる	その他	無回答
124	210	491	155	343	42	24
6.1	10.3	24.1	7.6	16.8	2.1	1.2

(上段：件数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

---

### 1.1 人口減少、高齢社会に歯止めをかけるために必要な取組（3つまで）

#### 全体

1位が「若い世代の就職支援」で53.4%、2位が「保育所整備など子育て支援の充実」で37.0%、続いて「正規雇用化の推進など雇用対策」が32.2%、「医療・介護・福祉サービスなど高齢者移住の受入体制の整備」が29.0%、「企業誘致」が28.4%となっている。

#### 地域別

全ての地域で「若い世帯の就職支援」が1位となっている。また、陶、名田島は「保育所整備など子育て支援の充実」が1位（陶、名田島は上位2項目が同率）となっている。

#### 男女別

「企業誘致」が男性31.1%に対して女性26.5%、「地場産業・中小企業の競争力強化」が男性18.7%に対して女性11.7%と、男性のポイントが高くなっている。

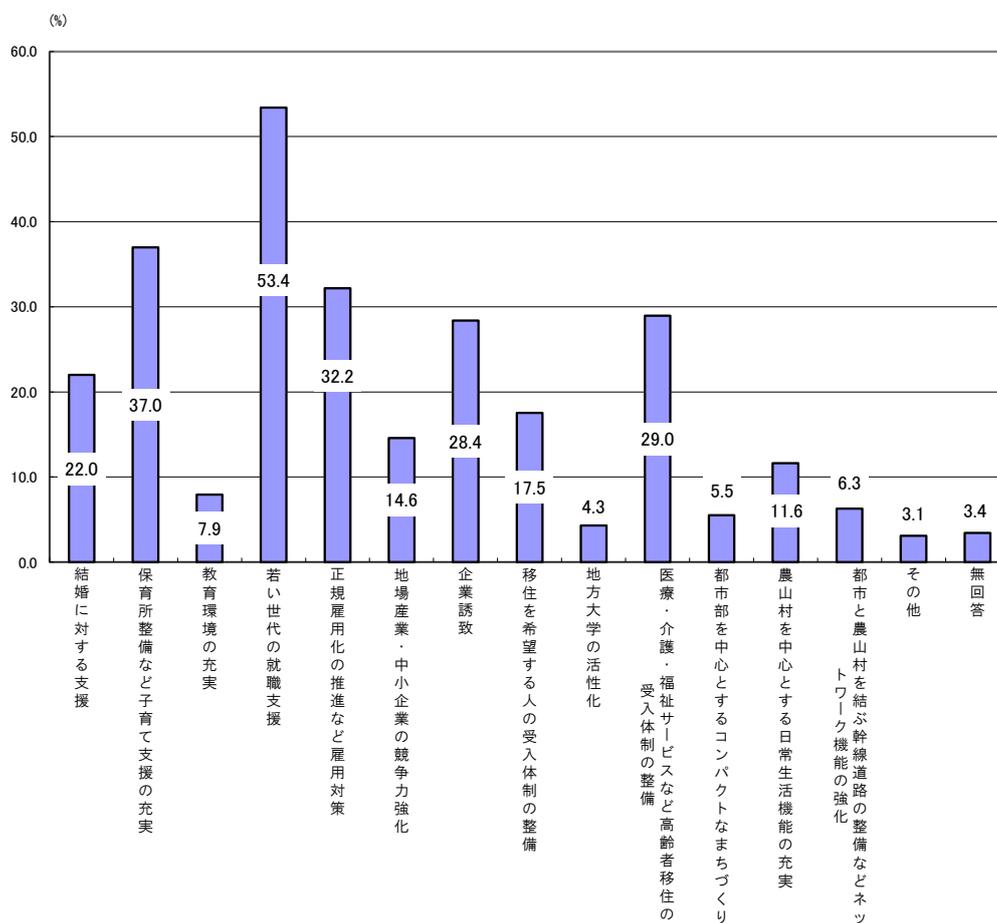
#### 年齢別

「若い世代の就職支援」が30歳代を除く年齢区分で1位となっている。30歳代は「保育所整備など子育て支援の充実」が1位となっている。

※図表は次ページ

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 1 人口減少、高齢社会に歯止めをかけるために必要な取組（3つまで）



(件・%)

総数	結婚に対する支援	保育所整備など子育て支援の充実	教育環境の充実	若い世代の就職支援	正規雇用化の推進など雇用対策
7,107	566	952	204	1,374	828
276.2	22.0	37.0	7.9	53.4	32.2
	地場産業・中小企業の競争力強化	企業誘致	移住を希望する人の受入体制の整備	地方大学の活性化	医療・介護・福祉サービスなど高齢者移住の受入体制の整備
	375	730	451	111	745
	14.6	28.4	17.5	4.3	29.0
	都市部を中心とするコンパクトなまちづくり	農山村を中心とする日常生活機能の充実	都市と農山村を結ぶ幹線道路の整備などネットワーク機能の強化	その他	無回答
	142	299	162	80	88
	5.5	11.6	6.3	3.1	3.4

(上段：件数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

- ・「自然環境と調和した暮らしのできるまち」(62.3%)が最も高く、次いで「安心・安全な暮らしのできるまち」(53.0%)、「いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化を育むまち」(45.0%)、「支えあい健やかな暮らしのできるまち」(36.4%)、「機能的な都市基盤が整い、発展していくまち」(30.3%)、「ともに力をあわせてつくるまち」(25.1%)、「市民の信頼に応える行政経営」(24.1%)、「市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち」(15.9%)の順となっている。

(%)

山口市の取組内容（政策）	満足度
1 支えあい健やかな暮らしのできるまち	36.4
2 いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち	45.0
3 安心・安全な暮らしのできるまち	52.9
4 自然環境と調和した暮らしのできるまち	62.3
5 機能的な都市基盤が整い、発展していくまち	30.3
6 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	15.9
7 とともに力をあわせてつくるまち	25.1
8 市民の信頼に応える行政経営	24.1

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 1 支えあい健やかな暮らしのできるまち

##### 全体

「満足している」(5.4%)と「やや満足している」(31.0%)を合わせた値は36.4%となっている。また、「やや不満である」(9.5%)と「不満である」(3.9%)を合わせた値は13.4%となっている。

##### 地域別

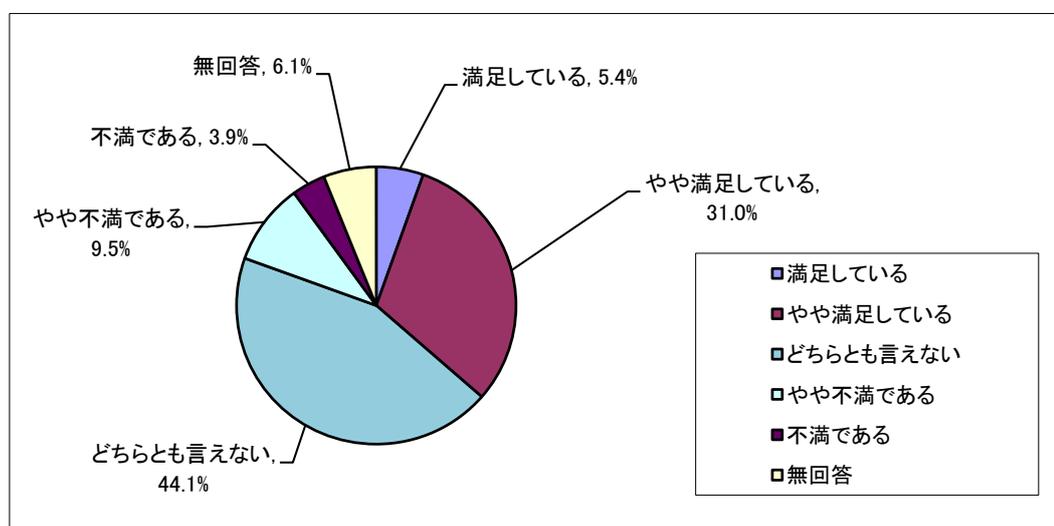
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、仁保(47.8%)、佐山(47.5%)、阿知須(44.3%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、阿東(20.4%)、秋穂二島(16.7%)、秋穂(16.3%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、40歳代が40.3%で最も高く、60歳～64歳が27.6%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	140	797	1,135	244	100	157
100.0	5.4	31.0	44.1	9.5	3.9	6.1

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 2 いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち

##### 全体

「満足している」(6.9%)と「やや満足している」(38.1%)を合わせた値は45.0%となっている。また、「やや不満である」(7.1%)と「不満である」(2.7%)を合わせた値は9.8%となっている。

##### 地域別

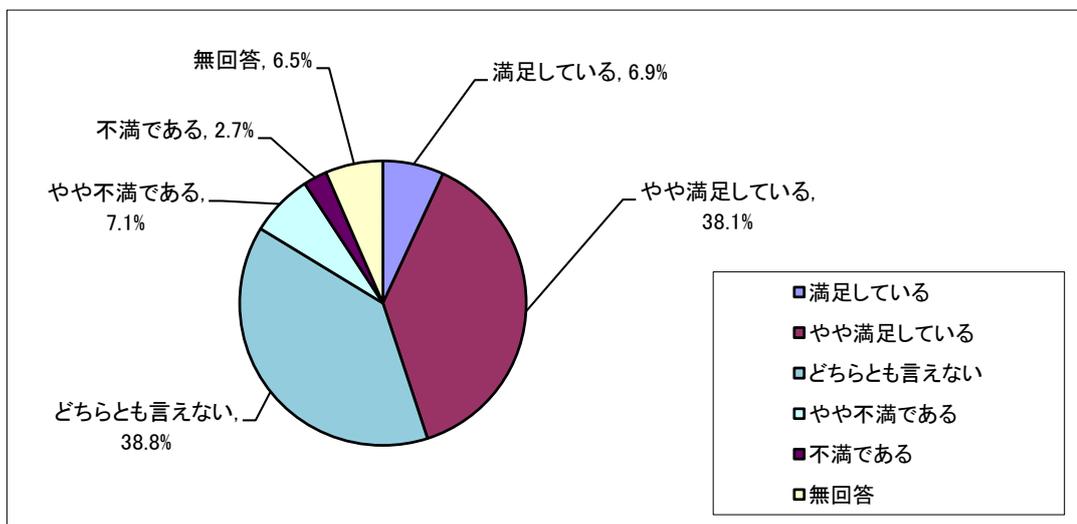
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、阿知須(53.9%)、湯田(53.5%)、大殿(51.1%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、徳地(16.0%)、秋穂(15.3%)、阿東(14.3%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、40歳代が51.9%で最も高く、10歳代が39.4%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	177	980	998	182	69	167
100.0	6.9	38.1	38.8	7.1	2.7	6.5

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 3 安心・安全な暮らしのできるまち

##### 全体

「満足している」(11.0%)と「やや満足している」(41.9%)を合わせた値は52.9%となっている。また、「やや不満である」(6.1%)と「不満である」(2.3%)を合わせた値は8.4%となっている。

##### 地域別

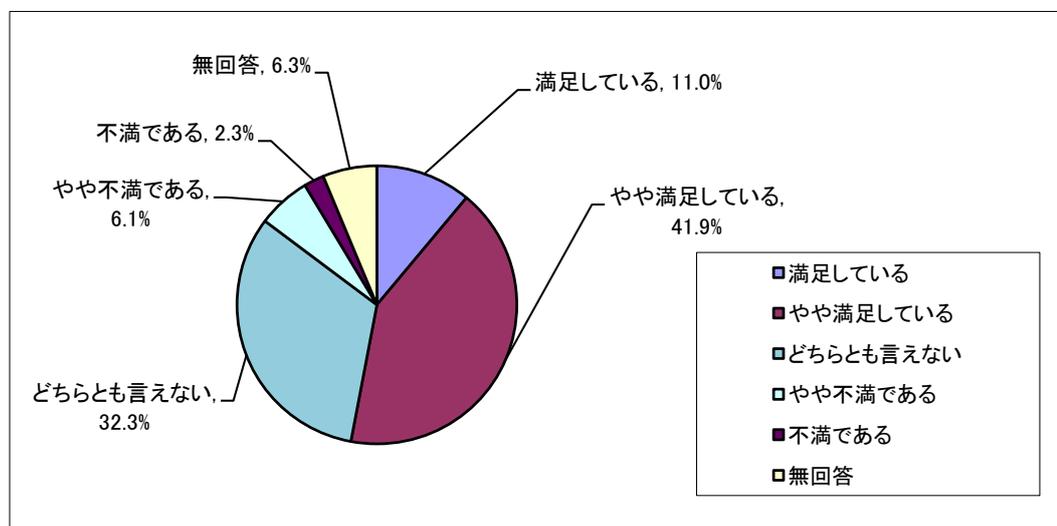
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、秋穂二島(64.3%)、阿知須(61.8%)、仁保(60.9%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、陶(17.9%)、徳地(13.0%)、佐山(12.5%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、40歳代が57.8%で最も高く、60歳～64歳が43.0%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	284	1,079	831	158	60	161
100.0	11.0	41.9	32.3	6.1	2.3	6.3

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 4 自然環境と調和した暮らしのできるまち

##### 全体

「満足している」(14.7%)と「やや満足している」(47.6%)を合わせた値は62.3%となっている。また、「やや不満である」(5.1%)と「不満である」(1.7%)を合わせた値は6.8%となっている。

##### 地域別

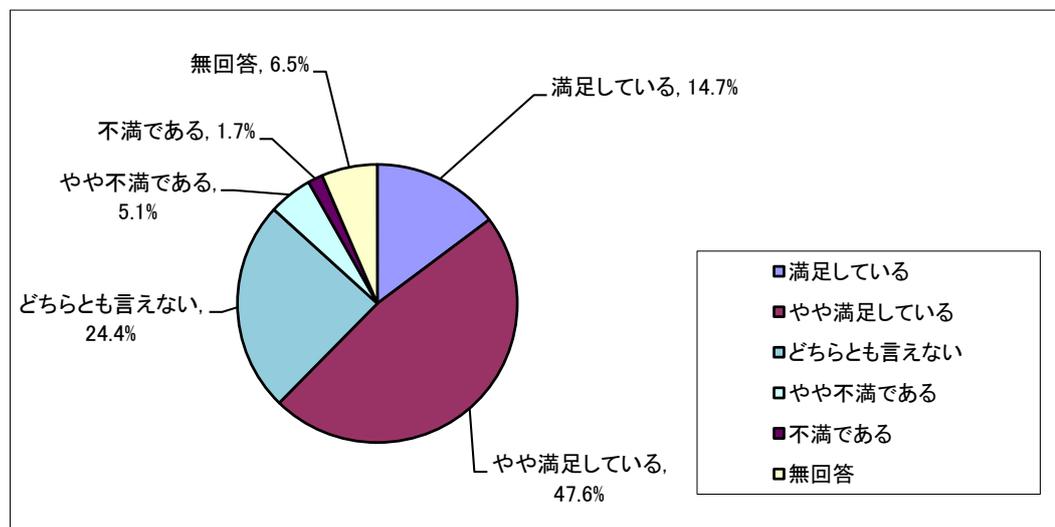
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、大歳(74.2%)、大殿(72.8%)、仁保(69.6%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、陶(14.3%)、小鯖(11.5%)、鑄銭司(10.8%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、40歳代が69.4%で最も高く、10歳代が51.5%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	379	1,225	629	130	44	166
100.0	14.7	47.6	24.4	5.1	1.7	6.5

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 5 機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

##### 全体

「満足している」(5.9%)と「やや満足している」(24.4%)を合わせた値は30.3%となっている。また、「やや不満である」(19.7%)と「不満である」(7.9%)を合わせた値は27.6%となっている。

##### 地域別

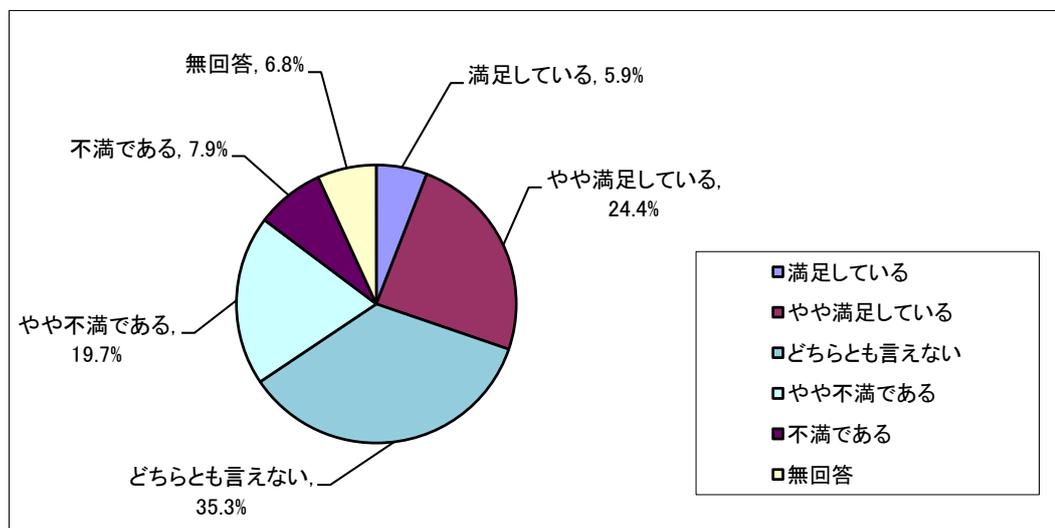
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、阿知須(38.3%)、佐山(37.5%)、名田島(36.3%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、陶(39.3%)、徳地(36.0%)、平川(34.1%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、30歳代が36.1%で最も高く、10歳代が15.1%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	151	628	908	508	203	175
100.0	5.9	24.4	35.3	19.7	7.9	6.8

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 6 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち

##### 全体

「満足している」(2.2%)と「やや満足している」(13.7%)を合わせた値は15.9%となっている。また、「やや不満である」(20.4%)と「不満である」(6.8%)を合わせた値は27.2%となっている。

##### 地域別

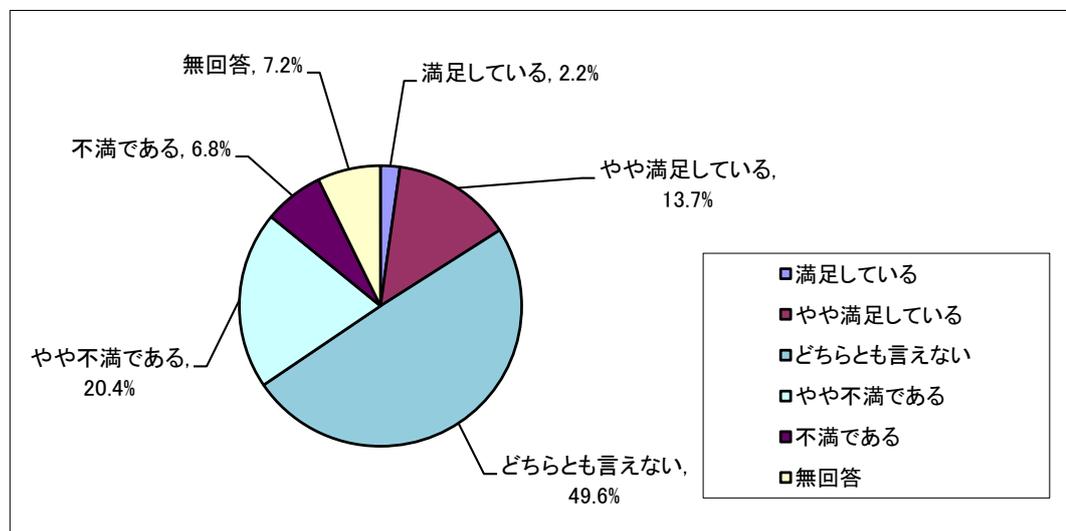
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、平川(20.2%)、湯田(20.0%)、大殿(19.6%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、陶(42.9%)、徳地(35.0%)、小鯖(32.8%)の順で高くなっている。

##### 男女別

「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、男性33.3%に対して女性が23.2%で、男性が10.1ポイント高くなっている。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、20歳代が23.5%で最も高く、60歳～64歳が10.9%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	57	353	1,275	526	176	186
100.0	2.2	13.7	49.6	20.4	6.8	7.2

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 7 とともに力をあわせてつくるまち

##### 全体

「満足している」(3.5%)と「やや満足している」(21.6%)を合わせた値は25.1%となっている。また、「やや不満である」(12.2%)と「不満である」(4.0%)を合わせた値は16.2%となっている。

##### 地域別

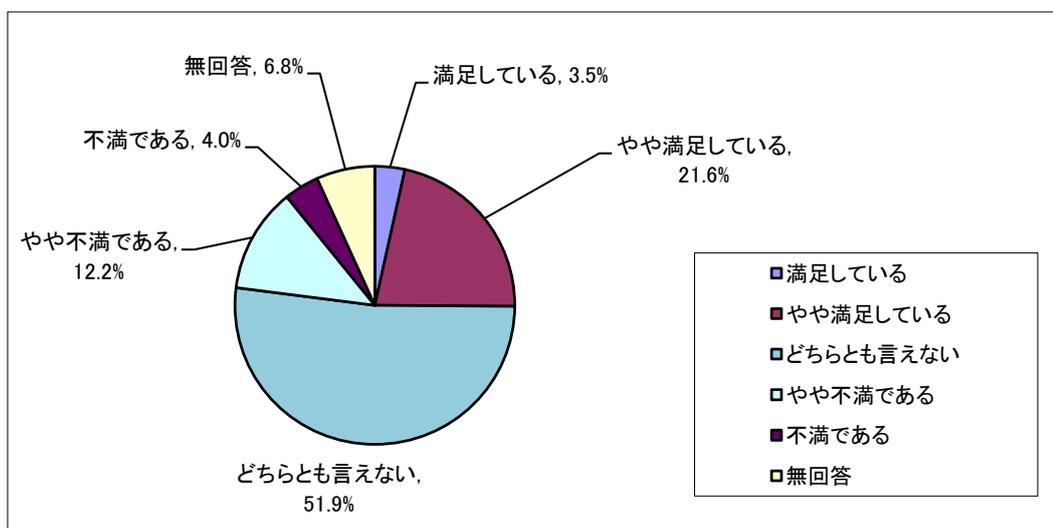
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、阿知須(36.5%)、名田島(36.4%)、陶(35.7%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は徳地(23.0%)、阿東(21.4%)、佐山(20.0%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、70歳～74歳が29.3%で最も高く、60歳～64歳が16.7%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	89	557	1,336	313	104	174
100.0	3.5	21.6	51.9	12.2	4.0	6.8

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 2 まちづくりの満足度

#### 8 市民の信頼に応える行政経営

##### 全体

「満足している」(3.1%)と「やや満足している」(21.0%)を合わせた値は24.1%となっている。また、「やや不満である」(14.0%)と「不満である」(6.5%)を合わせた値は20.5%となっている。

##### 地域別

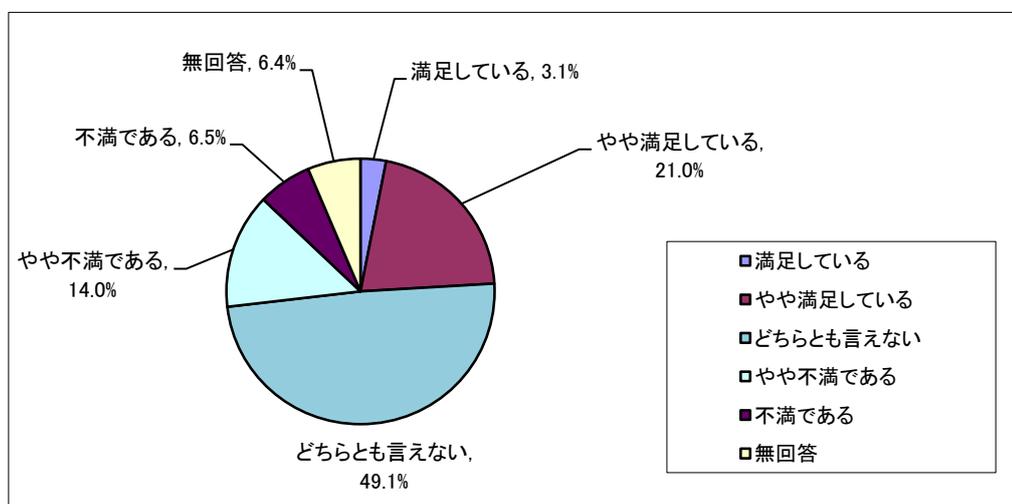
「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、名田島(36.3%)、秋穂二島(35.7%)、佐山(32.5%)の順で高くなっている。「やや不満である」と「不満である」を合わせた値は、秋穂(28.6%)、阿東(26.5%)、小鯖(26.2%)の順で高くなっている。

##### 男女別

区分による差異はほとんど見られない。

##### 年齢別

「満足している」と「やや満足している」を合わせた値は、75歳以上が33.4%で最も高く、60歳～64歳が17.2%と最も低くなっている。



(人・%)

総数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
2,573	79	540	1,263	360	167	164
100.0	3.1	21.0	49.1	14.0	6.5	6.4

(上段：人数、下段：構成比)

## II 回答者の構成と調査結果

---

### 1.3 自由意見（集約）

- ・自由意見は、全体で572人（691件）の記載があり、記載者割合は22.2%となっている。（1人で複数の意見を記載している場合がある。）
- ・意見は、大分類として、総合計画で示す8つの政策ごとに分類し、小分類として、総合計画で示すまちづくりの各分野（34施策）に沿ったかたちで分類した。ただし、政策内の複数分野にわたる意見は「～全般」としてまとめるとともに、8つの政策に分類できないまちづくり全般の意見については、「まちづくり全般」として分類した。その他に、本調査に関する意見、または、どの分野にも属さない意見については「その他」として分類した。
- ・最も多いのが、「まちづくり全般」で210件、次いで「公共交通の充実」が44件、「調査」が33件、「子育て支援」が30件、「計画的、効果的な行政経営」が27件などとなっている。

※図表は次ページ

## II 回答者の構成と調査結果

### 1 3 自由意見（集約）

(件)

分野	意見件数	分野	意見件数
<b>1 健康福祉</b>	<b>74</b>	<b>4 環境</b>	<b>41</b>
1 保健・医療	7	1 8 自然環境の保全	1
2 子育て支援	30	1 9 循環型社会の構築	9
3 高齢者福祉	15	2 0 下水道等の整備	16
4 障がい者福祉	5	2 1 生活環境の充実	10
5 地域福祉	0	環境全般	5
6 社会保障制度	4	<b>5 都市整備</b>	<b>91</b>
健康福祉全般	13	2 2 都市機能の充実	14
<b>2 教育・文化</b>	<b>22</b>	2 3 道路網の整備	20
7 人権意識の向上と男女共同参画の推進	0	2 4 公共交通の充実	44
8 学校教育の推進	7	都市整備全般	13
9 青少年の健全育成	0	<b>6 経済・産業</b>	<b>33</b>
1 0 文化の振興	5	2 5 観光の振興	11
1 1 生涯学習の充実	2	2 6 農業の振興	3
1 2 スポーツの振興	5	2 7 林業の振興	0
教育・文化全般	3	2 8 水産業の振興	0
<b>3 生活安全</b>	<b>39</b>	2 9 商工業の振興	8
1 3 災害対策	19	3 0 地場産業の振興と勤労者福祉	7
1 4 消防・救急体制	2	経済・産業全般	4
1 5 交通安全対策	8	<b>7 自治振興</b>	<b>10</b>
1 6 犯罪対策と消費者保護	8	3 1 地域コミュニティ活動や市民活動の充実	7
1 7 上水道の整備	0	3 2 市民参画によるまちづくり	2
生活安全全般	2	自治振興全般	1
		<b>8 行政経営</b>	<b>67</b>
		3 3 計画的、効果的な行政経営	27
		3 4 公正、確実な事務と市民サービスの向上	18
		行政経営全般	22
		<b>9 まちづくり全般</b>	<b>210</b>
		<b>1 0 その他</b>	<b>104</b>
		3 5 調査	33
		その他	71
		<b>合計</b>	<b>691</b>

## 市民意識調査のお願い

皆様方には、平素から市政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、平成20年度から29年度までの10年間の計画期間とする、まちづくりの長期的な指針『山口市総合計画』に基づき、そのめざすまちの姿「ひと、まち、歴史と自然が輝く交流と創造のまち 山口」の実現に向けた取組を展開しています。

総合計画は、将来の本市をどのようなまちにしていくのか基本的な方向性を示すもので、福祉、教育、都市計画、環境など市民生活における各分野の最も上位にあたる計画となります。

平成30年度以降を計画期間とする次期総合計画の策定を控え、本格的な人口減少時代や高齢社会の到来、集中豪雨等に対する防災の取組をはじめとした新たな課題を克服し、本市が将来に渡って活力ある社会を維持していく必要があります。

このたびの市民意識調査は、市民の皆様には本市の現状や今後のまちづくりについてのご意見をお伺いし、次期計画策定に向けた基礎資料とするために実施するものです。

本調査は平成27年8月15日現在、市内にお住まいの18歳以上の市民の方約5,000人を無作為に選ばせていただき実施しています。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。また、この意識調査の集計結果につきましては、市報等を通じて皆様にお知らせする予定にしています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年9月

山口市長 渡辺純忠

### ◇ご記入にあたってのお願い

◎この調査は、封筒のあて名のご本人がお答えください。

※事情によりご本人が回答できない場合は、ご家族の方などが、代わりにご記入いただいても結構です。

◎ご記入にあたっては、設問の中にお示しする数だけ、番号に○印をつけてください。

◎この調査票は、**9月30日(水)**までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

※返信用封筒は、切手を貼る必要はありません。また、記載されているバーコードは、日本郵便(株)で処理するためのものであり、個人を特定するものではありません。

◎ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

山口市総合政策部企画経営課 政策調整担当

TEL 083 - 934 - 2747 FAX 083 - 934 - 2642

電子メール kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

インターネット環境のある方は、山口市のホームページ(<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>)で

「山口市総合計画」の情報をぜひご覧ください。

ウェブ検索で

## 市民意識調査 調査票

問1 はじめにあなたご自身のことについておたずねします。(該当する番号に○印)

(1) あなたの性別は

1. 男                      2. 女

(2) あなたの年齢は

1. 10歳代                      2. 20歳代                      3. 30歳代  
4. 40歳代                      5. 50歳代                      6. 60歳～64歳  
7. 65歳～69歳                8. 70歳～74歳                9. 75歳以上

(3) あなたの職業は

1. 会社員・公務員などお勤めの方      2. 自営業・会社役員(農林水産業で専業の方を含む)  
3. パートタイマー、アルバイト      4. 家事専業  
5. 学生                      6. 無職                      7. その他

(4) あなたのお住まいの地域は

1. 大殿                      2. 白石                      3. 湯田                      4. 仁保                      5. 小鯖  
6. 大内                      7. 宮野                      8. 吉敷                      9. 平川                      10. 大歳  
11. 陶                      12. 鑄銭司                      13. 名田島                      14. 秋穂二島                      15. 嘉川  
16. 佐山                      17. 小郡                      18. 秋穂                      19. 阿知須                      20. 徳地  
21. 阿東

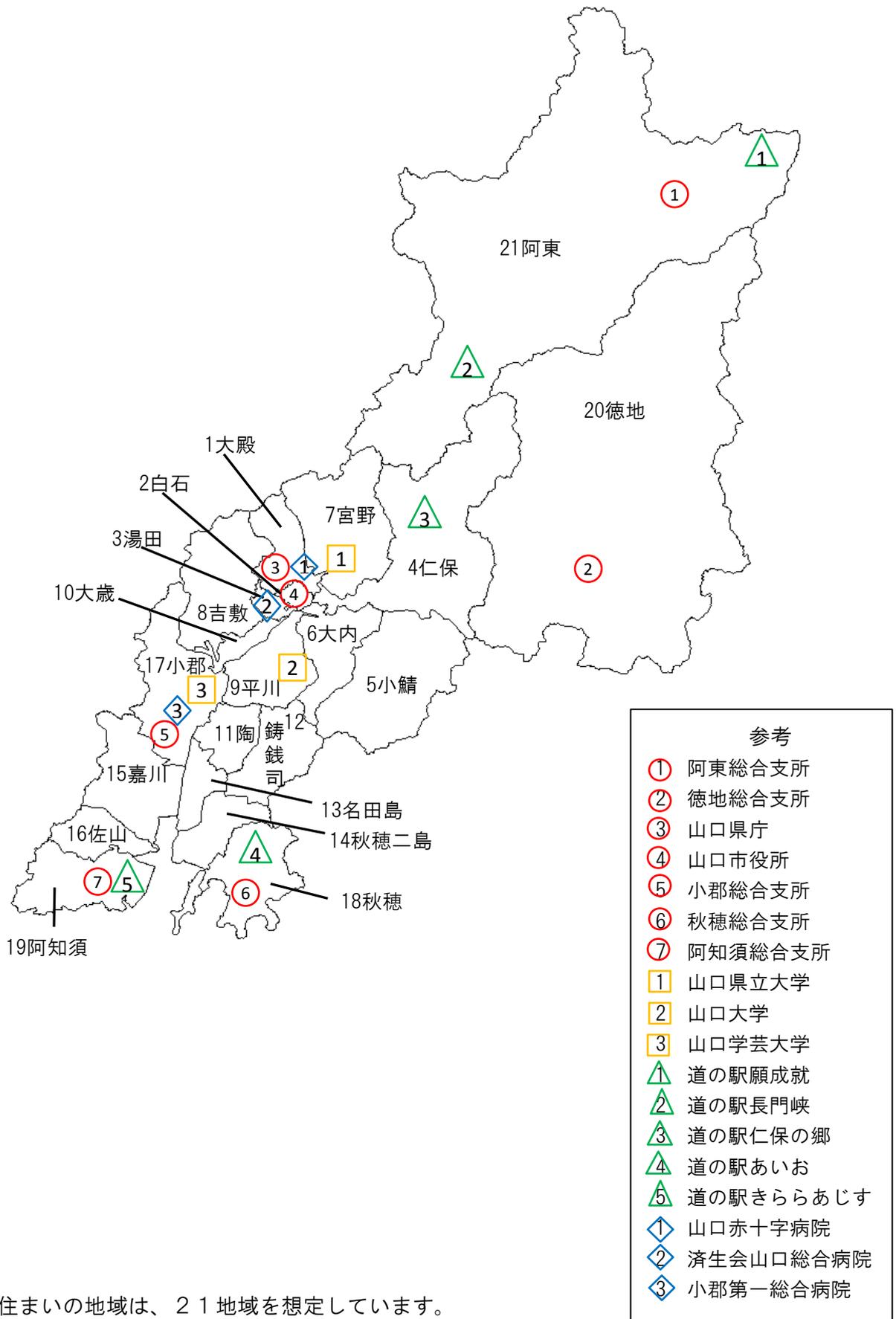
お住まいの地域名がわからない場合は、

下の( )内にあて名の住所をお書きください。

(                      ) 記入例：亀山町、中央一丁目など

※番地の記載は不要です。

【山口市地図】



※お住まいの地域は、21地域を想定しています。

(5) 山口市に住むようになって

※通算の年数を選んでください(合併前の旧市町での居住年数を含む)。

- |              |            |             |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 1年未満      | 2. 1年～5年未満 | 3. 5年～10年未満 |
| 4. 10年～20年未満 | 5. 20年以上   |             |

(6) 山口市に住むようになったきっかけは

- |                 |                       |          |
|-----------------|-----------------------|----------|
| 1. もともと山口市で生まれた | 2. 自分または家族の転勤のため      | 3. 就職のため |
| 4. 結婚のため        | 5. 入学・進学のため           |          |
| 6. 定年退職(老後)のため  | 7. 家族・親族と同居または近くに住民ため |          |
| 8. 通勤・通学が便利のため  | 9. その他( )             |          |

問2 あなたの生活形態などについておたずねします。

(1) 食料品、日用雑貨などの 身の回り品 を主にどこで買物しますか。

(1から5のうち 1つ に○をつけてください。3を選んだ場合は、( )内の該当するものに○をつけてください。)

- お住まいの地域内
- 市内の他地域(地域名: ) <例: 宮野>
- 県内他市町(宇部・防府・周南・その他(市町名: ))
- 通信販売・インターネット
- その他( )

(2) 衣料品、家電製品などの 耐久消費財 を主にどこで買物しますか。

(1から6のうち 1つ に○をつけてください。3または5を選んだ場合は、( )内の該当するものに○をつけてください。)

- お住まいの地域内
- 市内の他地域(地域名: )
- 県内他市町(宇部・防府・周南・その他(市町名: ))
- 通信販売やインターネット
- 県外(福岡・広島・その他(県名: ))
- その他( )

(3) 通勤・通学地はどの地域になりますか。

(1から5のうち 1つ に○をつけてください。3または4を選んだ場合は、( )内の該当するものに○をつけてください。)

1. お住まいの地域内
2. 市内の他地域 (地域名: )
3. 県内他市町 (宇部・防府・周南・その他 (市町名: ))
4. 県外 (福岡・広島・その他 (県名: ))
5. その他 ( )

(4) 病気の時診察を受けたり、通院する医療機関は主にどの地域にありますか。

(1から5のうち 1つ に○をつけてください。3または4を選んだ場合は、( )内の該当するものに○をつけてください。)

1. お住まいの地域内
2. 市内の他地域 (地域名: )
3. 県内他市町 (宇部・防府・周南・その他 (市町名: ))
4. 県外 (福岡・広島・その他 (県名: ))
5. その他 ( )

(5) 買物や医療機関に行くとき、主にどの交通手段を利用しますか。(○は 1つ)

- |                  |        |       |
|------------------|--------|-------|
| 1. 自家用車 (バイクを含む) | 2. バス  | 3. 鉄道 |
| 4. タクシー          | 5. 自転車 | 6. 徒歩 |
| 7. その他 ( )       |        |       |

問3 あなたはこれからもお住まいの地域に 住み続けたい と思いますか。(○は 1つ)

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. 市内で転居したい (地域名: )
4. 市外へ転出したい (市町村名: )
5. わからない

問4 あなたが山口市で暮らす上で評価していることを、次の中から 3つまで 選んでください。  
(該当する番号に○印)

1. 子どもの教育環境が整っている
2. 文化・芸術施設が充実している
3. 観光施設が充実している
4. スポーツ施設が充実している
5. まちなみと自然が調和した美しい景観が保たれている
6. 海や山などの自然に恵まれている
7. 地震が少ない
8. 食べ物がおいしい
9. 魅力的なショッピングや外食の場がある
10. 市内や近隣に働きがいのある職場がある
11. バスや鉄道などの交通の便がよい
12. 道路や駐車場が整備され自動車の移動に便利である
13. 歩道の広さや段差解消などバリアフリーが進んでいる
14. 医療機関が充実している
15. 民間の福祉サービスが充実している
16. 大規模な公園や自然とふれあう場が整備されている
17. 犯罪が少なく治安がよい
18. 静かで落ち着いた雰囲気を持っている
19. まちに活気がありにぎわっている
20. 水道・下水道など基本的な社会資本整備が進んでいる
21. その他 ( )

問5 全国に誇れる山口市の地域資源を、次の中から 3つまで 選んでください。  
(該当する番号に○印)

1. パークロードをはじめとした美しい道路
2. SL「やまぐち」号
3. 国宝「瑠璃光寺五重塔」・大内文化
4. 明治維新の関連史跡
5. サビエル記念聖堂・日本のクリスマスは山口から
6. 山口情報芸術センター (YCAM)
7. 湯田温泉
8. 新山口駅のゲートウェイ (玄関口) 機能
9. 中原中也
10. 農林水産物などの特産品 (車えび・和牛・かぼちゃ など)
11. 海や山など豊かな自然
10. その他 ( )

問6 今後の山口市のまちづくりに必要と思われることを次の中から 3つまで 選んでください。  
(該当する番号に○印)

1. 安心して教育を受けられる環境が整備されたまち
2. まちなみや景観が美しいまち
3. 歴史・伝統・芸術・文化を大切にするまち
4. 観光交流が盛んなまち
5. スポーツに親しむ環境が整備されたまち
6. 高度な医療や福祉サービスが充実したまち
7. 子育てしやすい環境が整備されたまち
8. 産業が盛んで働く場所が充実したまち
9. だれでも市内を自由に移動できる交通利便性の高いまち
10. 人々のふれあいやコミュニティ活動が盛んで温かいまち
11. 身近に自然を感じることもできるまち
12. 個性を尊重し多様なライフスタイルが実現できるまち
13. 防災対策や浸水対策が強化され安心して暮らせるまち
14. 治安がよく安心して暮らせるまち
15. お店や娯楽施設が豊富で、夜でもにぎやかさのあるまち

問7 上記(問6)に関連して、これからの「山口市が目指すまちの姿」について、あなたのお考えとその理由をお書きください。

※記入例

(まちの姿) 誰もが安心安全に暮らせるまち

(理 由) 社会生活に不安を感じることが多い。

(まちの姿)

(理 由)

問8 あなたは10年後の生活に明るい見通しを持っていますか。(○は 1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問9 人口減少や高齢社会といった人口問題について不安を感じていますか。(○は 1つ)

1. 非常に不安
2. まあまあ不安
3. ふつう
4. あまり不安ではない
5. 全く不安ではない

問10 前問で「1. 非常に不安」、「2. まあまあ不安」とお答えした方にお聞きします。  
どのような不安をお持ちですか。次の中から 3つまで 選んでください。  
(該当する番号に○印)

1. 人がいなくなって地域の活力がなくなる
2. 働き手がなくなる
3. 医療・介護など福祉サービスが行き届かなくなる
4. 年金など社会保障制度が持続できなくなる
5. 公共交通機関が廃止されて不便になる
6. スーパーや商店などがなくなり買物が不便になる
7. 小学校や中学校をはじめ教育機関がなくなる
8. 災害発生時に支えてくれる人がいない
9. 空き家が増加して災害・犯罪の危険が増す
10. 道路・橋・下水道などのインフラ維持サービスが行き届かなくなる
11. 公共料金が高くなる
12. その他 ( )



問12 山口市が取り組んでいるまちづくりについて、どのくらい現状に満足されていますか。  
項目1から8までそれぞれお答えください。（該当するもの 1つ に○）

項目	山口市の取り組み内容	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である
例) 1	例) 支えあい健やかな暮らしのできるまち	①	2	3	4	5
1	<b>支えあい健やかな暮らしのできるまち</b> (健康づくりの推進、子育て環境の整備、高齢者・障がい者の支援体制の整備、福祉サービス・社会保障制度の充実)	1	2	3	4	5
2	<b>いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち</b> (人権が尊重されるまちの実現、教育環境の整備、家庭・地域における社会教育の推進、文化・芸術・歴史を生かした活動の充実、生涯学習活動の促進、スポーツに親しめる社会の実現)	1	2	3	4	5
3	<b>安心・安全な暮らしのできるまち</b> (災害や緊急事態への体制整備、消防・救急体制の充実、交通事故の抑制に向けた啓発活動や環境整備、防犯活動・防犯対策の強化、安定した給水体制の構築)	1	2	3	4	5
4	<b>自然環境と調和した暮らしのできるまち</b> (自然環境の保全、環境資源の活用、ごみ排出量の抑制、リサイクルの推進、汚水処理体制の構築、生活公害対策の推進)	1	2	3	4	5
5	<b>機能的な都市基盤が整い、発展していくまち</b> (地域に応じた都市環境づくりの推進、道路交通網の整備、公共交通機関の利便性の強化)	1	2	3	4	5
6	<b>市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち</b> (観光の振興、安定的な農業経営・森林経営・漁業経営の実現、地域経済の活性化、中小企業の経営安定化)	1	2	3	4	5
7	<b>ともに力をあわせてつくるまち</b> (地域コミュニティや地域自治の強化、官民連携による地域課題の解決)	1	2	3	4	5
8	<b>市民の信頼に応える行政経営</b> (計画的・健全な行政経営、透明性・公平性を確保した行政サービス)	1	2	3	4	5

- その他ご意見がありましたらお聞かせください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

9月30日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストへ投函してください。

